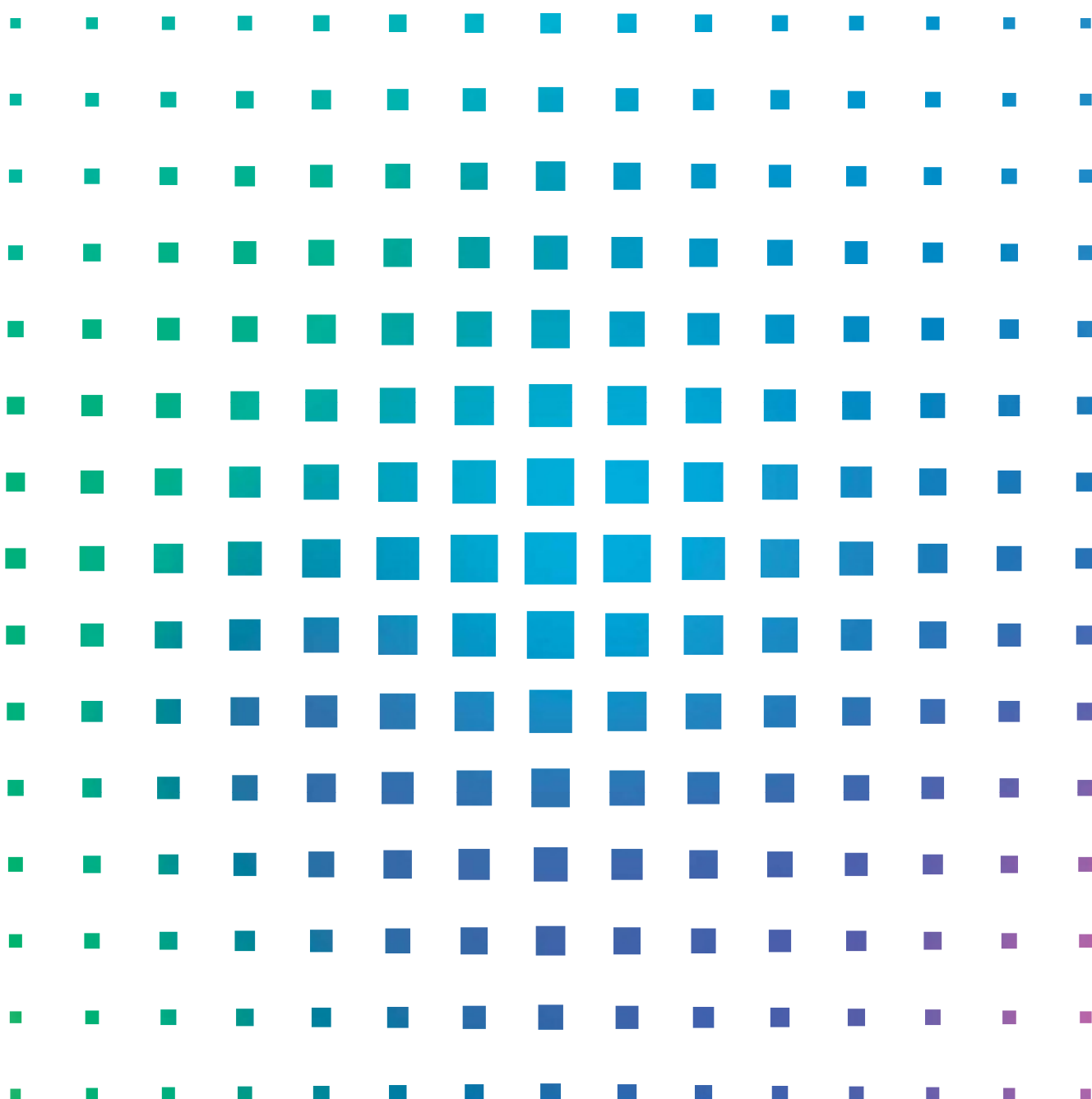


富山市総合計画 後期基本計画

2012 - 2016

概要版



富山市総合計画 後期基本計画 2012－2016（概要版） もくじ

ごあいさつ

1 総合計画後期基本計画の策定／ 2

2 総合計画と各分野の主な計画／ 2

3 基本指標／ 3

- （１）人口の見通し／ 3
- （２）市民意識調査／ 4
- （３）財政の状況／ 6

4 総合計画の体系／ 7

5 まちづくりの目標実現のための施策の体系／ 8

- 目標Ⅰ 人が輝き「安心」して暮らせるまち／ 8
- 目標Ⅱ すべてにやさしい「安全」なまち／ 11
- 目標Ⅲ 都市と自然が調和した「潤い」が実感できるまち／ 14
- 目標Ⅳ 個性と創造性に満ちた「活力」あふれるまち／ 17
- 目標Ⅴ 新しい富山を創る「協働」のまち／ 20

6 主な市民に期待する役割、目標とする指標／ 21

7 重点プロジェクト／ 22

資料編／ 24

- ・ 施策の体系／ 24
- ・ 総合計画事業概要一覧／ 26
- ・ 目標とする指標一覧／ 29
- ・ 市民に期待する役割一覧／ 32
- ・ 主な協働事業一覧／ 34

ごあいさつ



富山市は、北に広がる富山湾から南にそびえる北アルプス立山連峰まで、標高差4,000メートルの豊かな自然に恵まれ、県都として高度な都市機能を併せ持つ日本海側有数の中核都市です。

近年、人口減少と少子・超高齢社会が進行する中、富山市では北陸新幹線の平成26年度末までの開業を見据え、都市機能が充実し、誰もが暮らしやすく、魅力に溢れ、多くの方々から「訪れてみたい」、「住んでみたい」と思われるような、誰からも選ばれる魅力ある都市を目指しております。そのためには、公共交通の活性化や効率的な都市機能の形成によるコンパクトなまちづくりを進めながら、福祉や環境など市民の暮らしに関わりの深い分野の施策についても一層充実していかなければならないと考えています。

こうした中、本市での「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」をはじめとした戦略的な提案が評価され、平成23年12月には、国の新成長戦略に位置づけられた「環境未来都市」構想の対象都市として富山市が選定されました。また、平成19年に国の第1号認定を受けた中心市街地活性化基本計画での取り組みを基に、更なる中心市街地の活性化を目指すため第2期計画を策定し、この3月に国から認定を受けたところです。

厳しい財政状況の中で富山市が継続的に発展していくためには、これらの事業に着実に取り組み、環境にも高齢者にも優しい都市を目指すとともに、中心市街地に高次都市機能を一層集積させ、経済政策により産業の育成と雇用の安定を図るなど、様々な施策をバランス良く推進しながら、都市の総合力を高めていくことが重要であります。

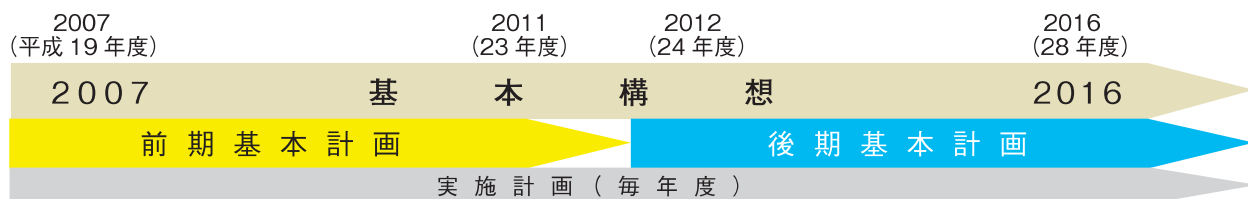
このたびの総合計画後期基本計画は、基本構想に基づき、前期基本計画の成果と課題を検証し、富山市の目指す都市像『人・まち・自然が調和する 活力都市とやま』の実現に向けて、目標年度である平成28年度までの施策の方向性を明らかにしたものです。この計画では、施策の実施によって得られる成果ができるだけわかりやすくなるよう「目標とする指標」を示すとともに、まちづくりへの参画を身近に感じていただけるように「市民に期待する役割」を記載しておりますので、市民の皆様、企業や関係団体の方々の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、この計画の策定にあたりまして、市民説明会やパブリックコメントなどを通して参画をいただいた多くの市民の皆様、熱心なご審議を賜りました富山市総合計画審議会委員の皆様に対しまして、心から感謝を申し上げます。

平成24年3月

富山市長 森 雅志

1 総合計画後期基本計画の策定



■総合計画前期基本計画【2007（H19）－2011（H23）】 “新市の一体感の醸成と均衡ある発展”

- 社会経済情勢の変化
 - ・人口の減少、急速な少子・超高齢社会の進展
 - ・世界的な金融・経済危機の発生
 - ・国の政策の大きな変化や地方分権の一定の進展
- 北陸新幹線の開業
 - ・交流・定住人口の拡大
 - ・魅力あるまちづくり
- 東日本大震災を教訓とした災害に強いまちづくり
- 環境未来都市の選定

前期基本計画の検証

まちづくりの課題への対応

将来人口推計の結果
市民意識調査の結果

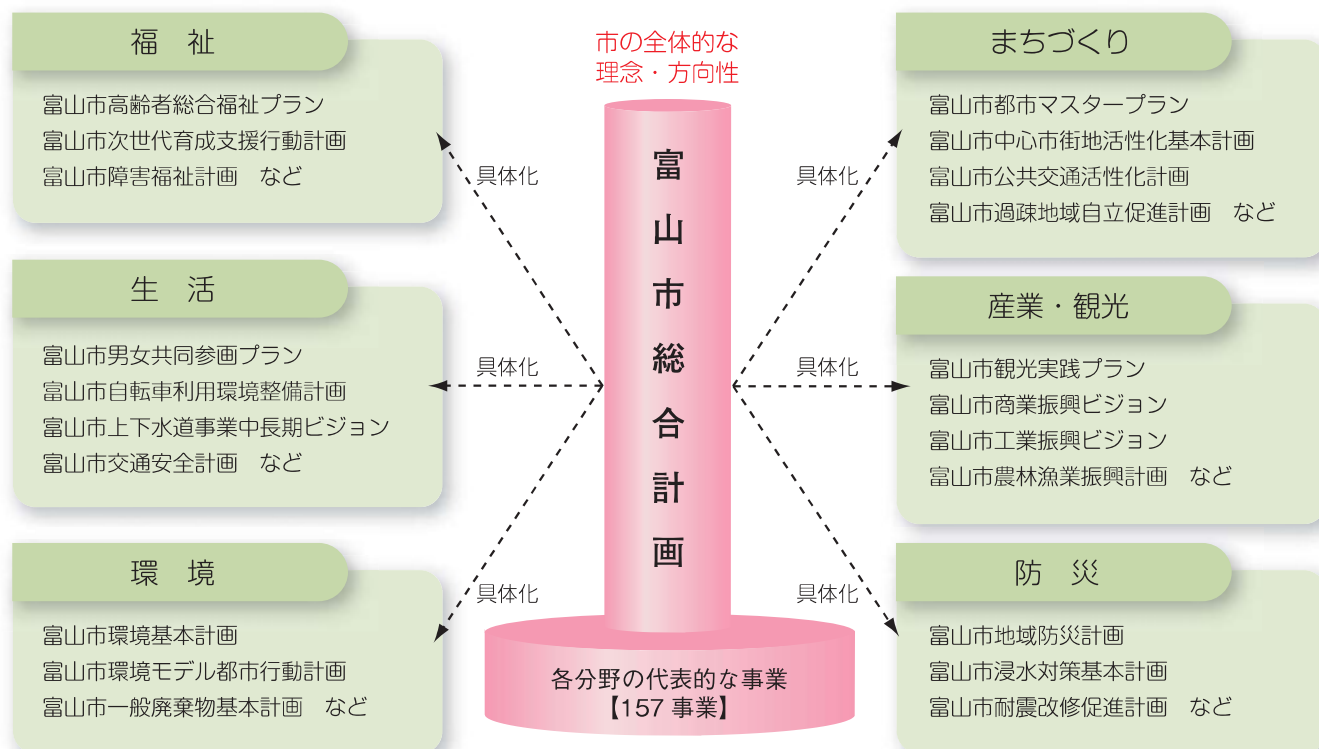
“時代の変化に対応”

■総合計画後期基本計画【2012（H24）－2016（H28）】 “それぞれの地域における多彩な魅力を最大限に発揮できるまちづくり”

都市と自然が共生する活力ある富山市を創造するため、
市民との協働を基本とした後期基本計画を策定



2 総合計画と各分野の主な計画



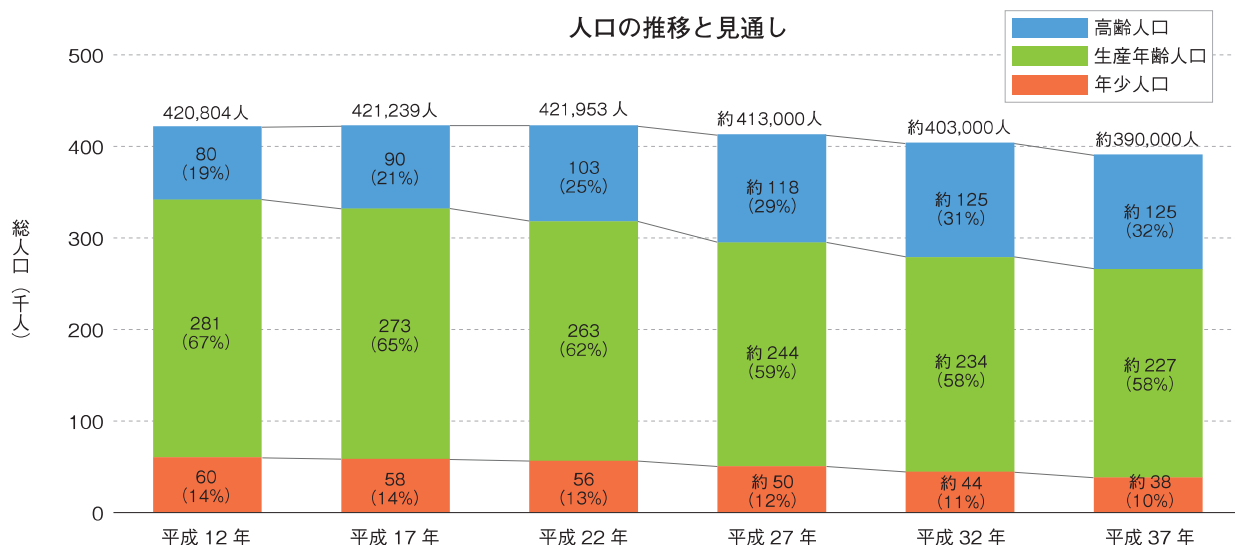
富山市総合計画の理念・方向性に従って、各分野の課題に対応した計画を策定し、きめ細かな事業を展開しています。

3 基本指標

(1) 人口の見通し

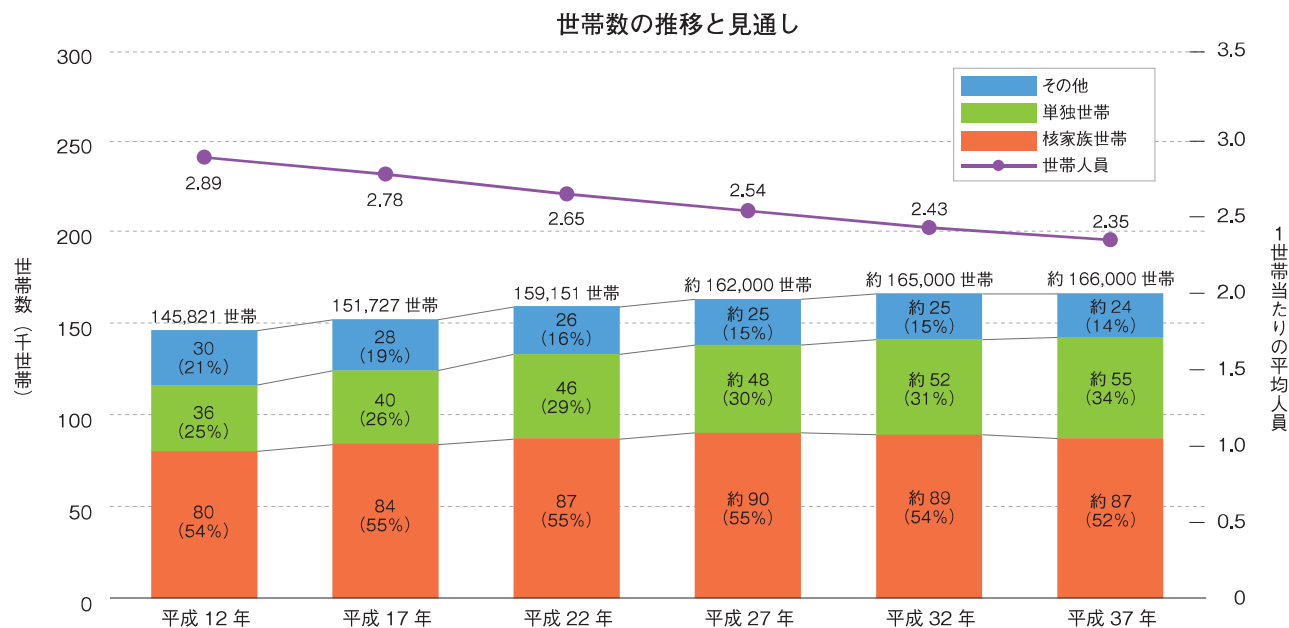
1) 総人口・年齢別人口

本市の総人口は、減少に転じ、平成27年には、平成22年と比較して約9,000人減少し、413,000人になると見込まれます。また、年齢3区分別人口については、高齢人口（65歳以上）の総人口に占める割合は、平成17年では21.5%でしたが、平成27年には約29%となり、高齢化が一段と進むものと予想されます。



2) 世帯数

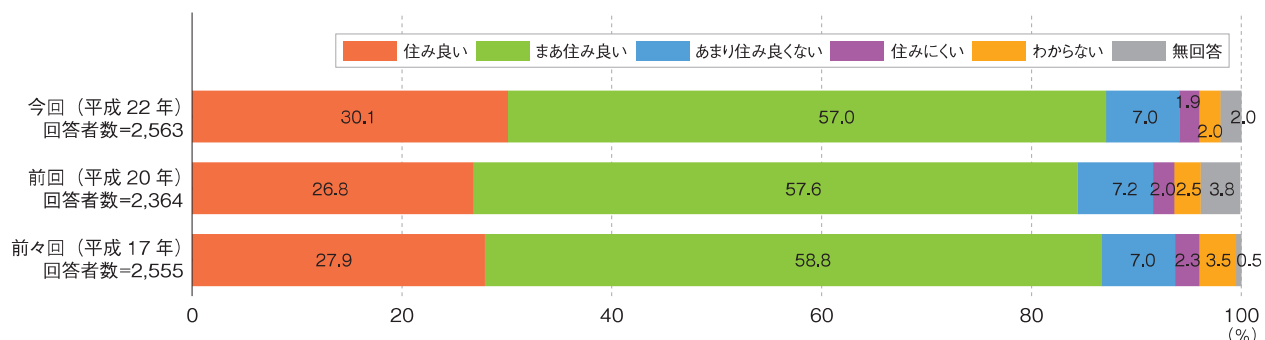
世帯数は、平成22年には159,151世帯（平成22年国勢調査人口確定値）で、一世帯当たりの平均人員2.65人でした。平成27年には約162,000世帯になるものと推定され、一世帯当たりの平均人員は2.54人に減少するものと推定されます。



(2) 市民意識調査（平成22年市民意識調査の結果から）

1) 富山市の住みよさ

今回（平成22年）調査では、前回（平成20年）調査及び前々回（平成17年）調査と比較しても、「住み良い」と回答した人の割合が若干高くなり、「住みにくい」と回答した人の割合がわずかに低くなっています。

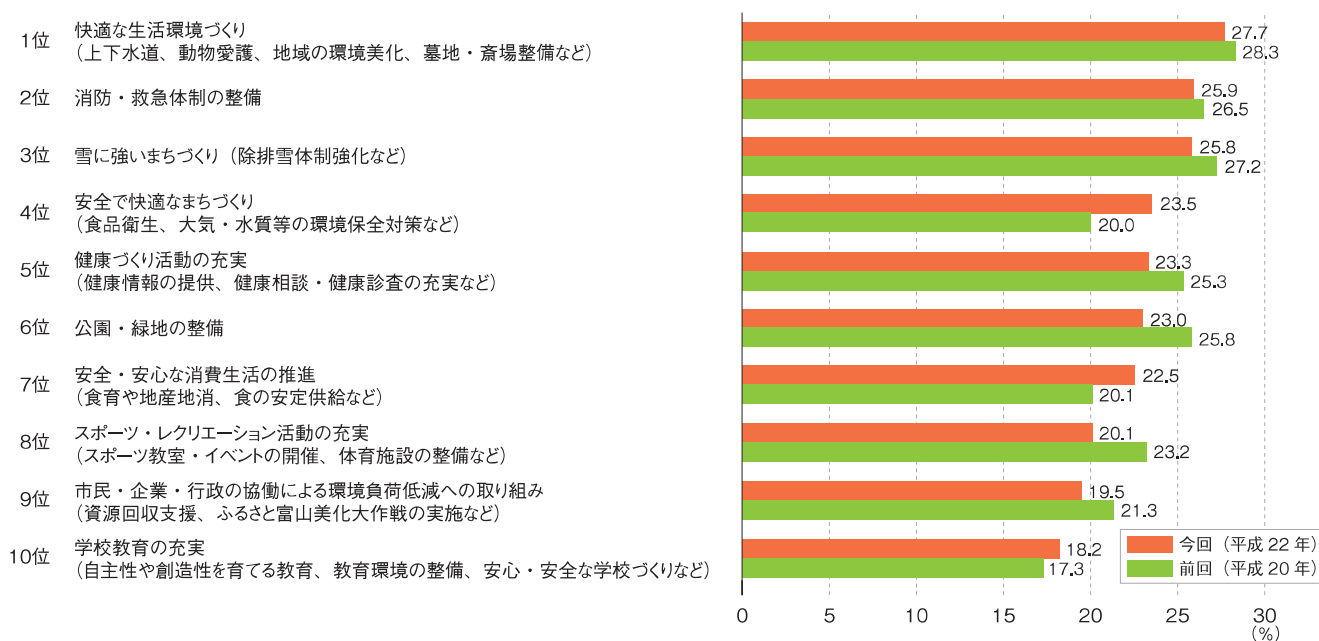


2) 施策の満足度・・・総合計画の62の施策について、満足度を調査

今回（平成22年）調査と前回（平成20年）調査を比較すると、「満足」の割合の高い施策の上位3位までに大きな変動はありませんが、前回（平成20年）調査では12位の「安全で快適なまちづくり」は、今回（平成22年）調査では4位に順位を上げています。

逆に、「地域を結び生活を支える道路網の整備」（前回8位、今回14位）に、「賑わいと交流の都市空間の整備・拡充」（前回6位、今回15位）は順位を下げています。

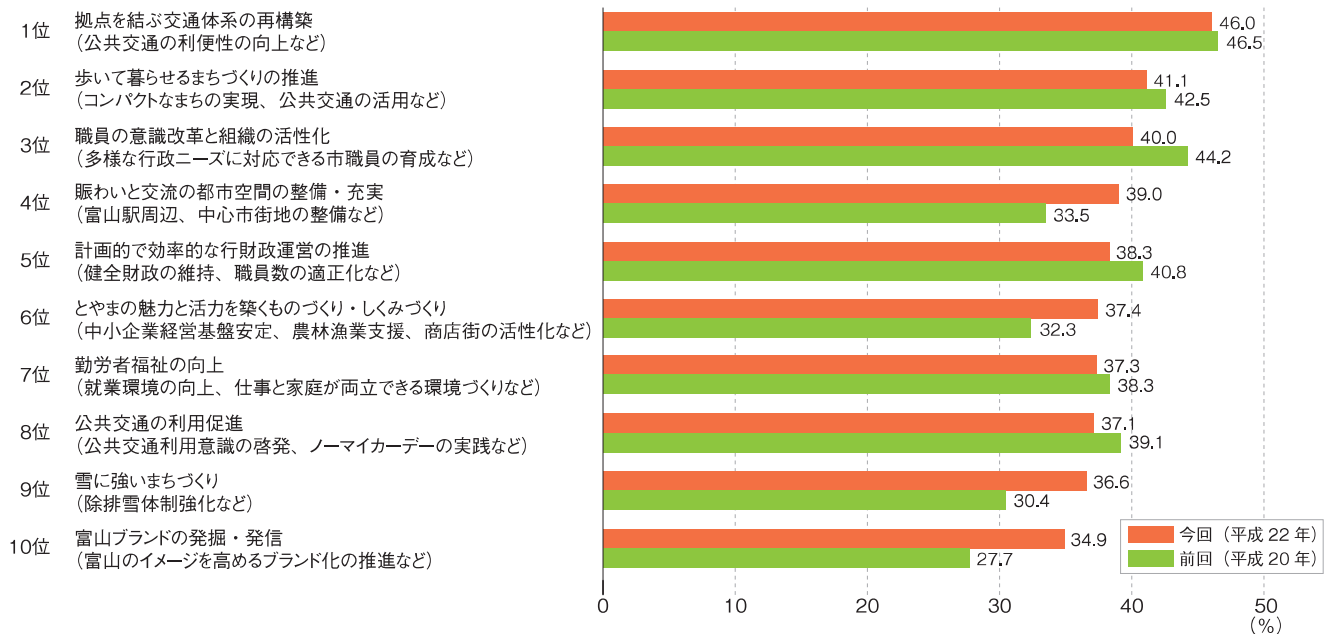
『満足』（満足+ほぼ満足） 1位から10位



特に「不満」の順位が下がったものでは、「エネルギーの有効活用」（前回8位、今回21位）、「災害に強いまちづくり」（前回26位、今回49位）などがあります。

逆に「賑わいと交流の都市空間の整備・充実」（前回10位、今回4位）、「とやまの魅力と活力を築くものづくり・しくみづくり」（前回12位、今回6位）などは順位を上げています。

『不満』（不満+やや不満） 1位から10位

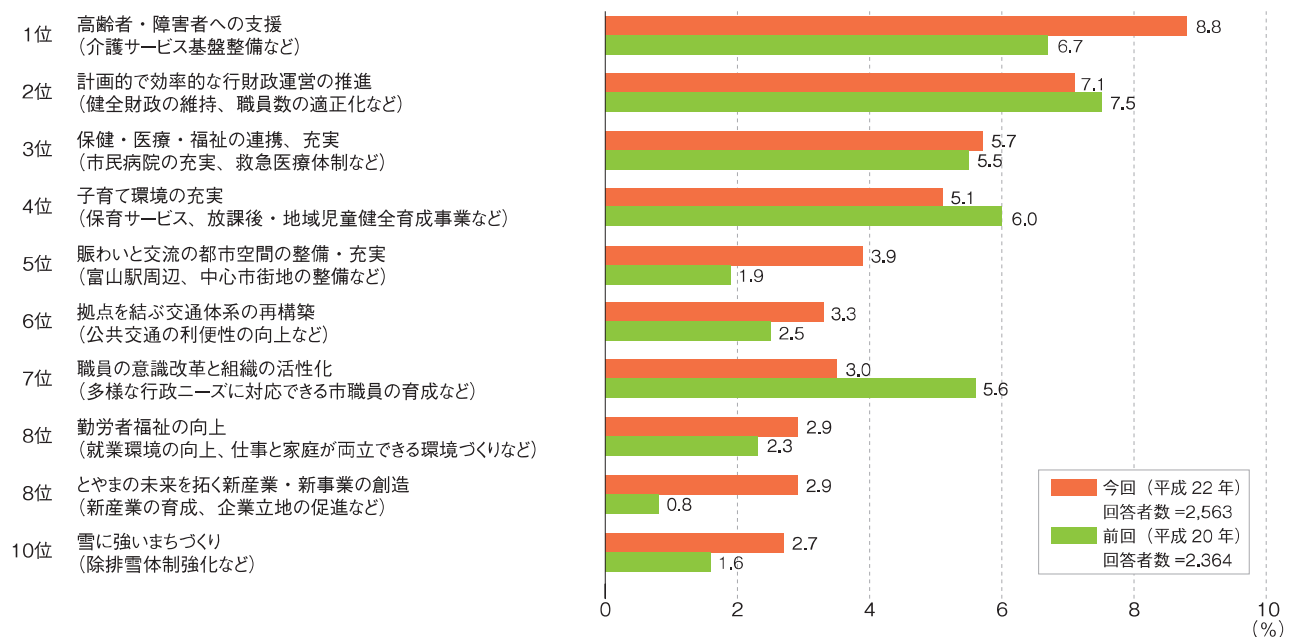


3) 今後のまちづくりの重点…62の施策のうち最も重点的に取り組むべき施策を調査

「高齢者・障害者への支援」（前回2位、今回1位）、「賑わいと交流の都市空間の整備・充実」（前回15位、今回5位）、「とやまの未来を築く新産業・新事業の創造」（前回29位、今回8位）、「雪に強いまちづくり」（前回18位、今回10位）などは順位を上げています。

逆に、「職員の意識改革と組織の活性化」（前回4位、今回7位）、「一人ひとりが尊重される平和な社会づくり」（前回6位、今回15位）、「エネルギーの有効活用」（前回10位、今回28位）などは順位を下げています。

最も重点的に取り組むべき施策（1位から10位）

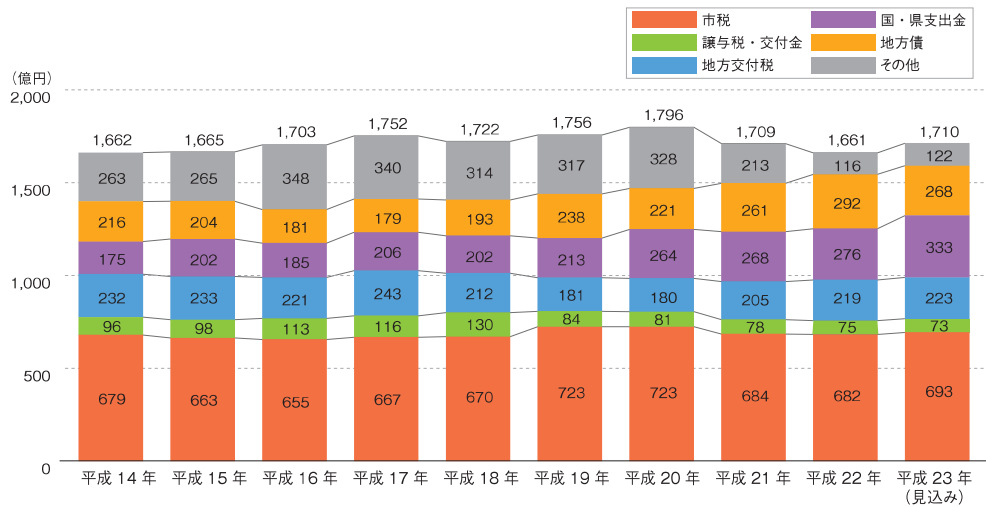


(3) 財政の状況

1) 歳入総額の推移（普通会計）

市税及び地方交付税の大きな伸びは期待できません。また、市債が増加傾向にあります。

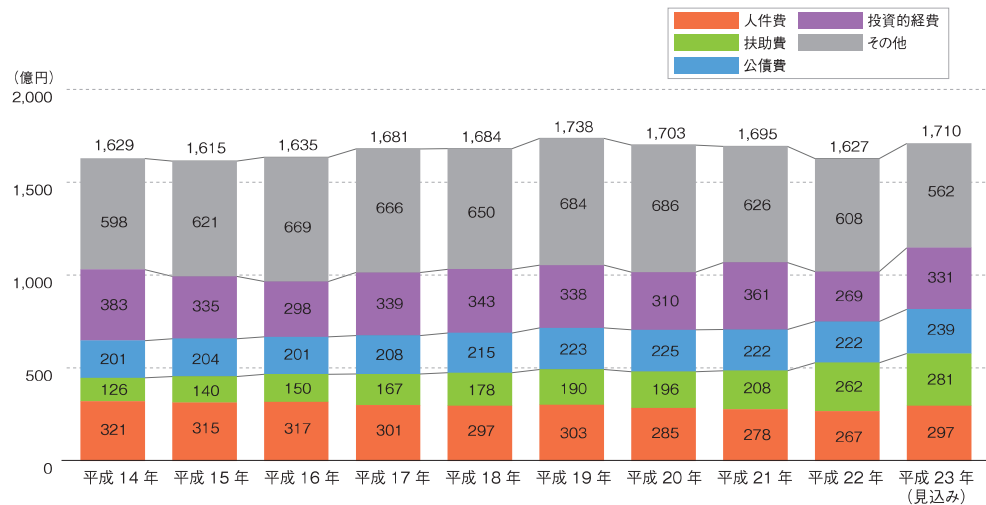
歳入総額の推移（普通会計）



2) 歳出総額の推移（普通会計）

人件費は減少傾向にありますが、扶助費、公債費が増加しており、財政の硬直化が進んでいます。

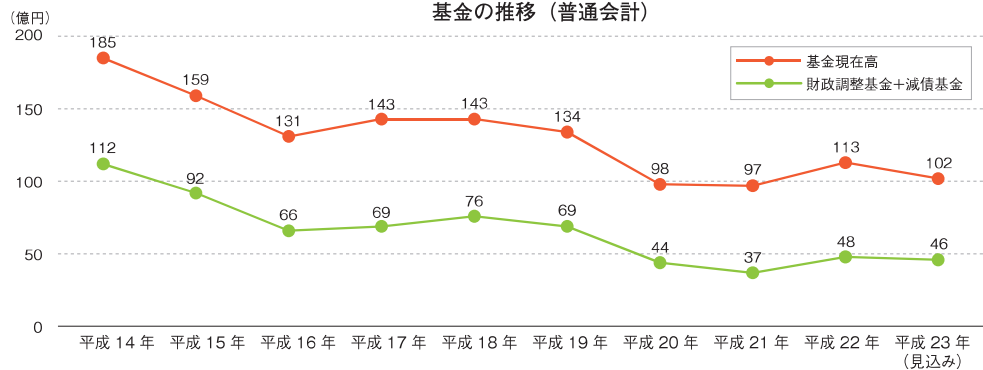
歳出総額の推移（普通会計）



3) 基金の推移（普通会計）

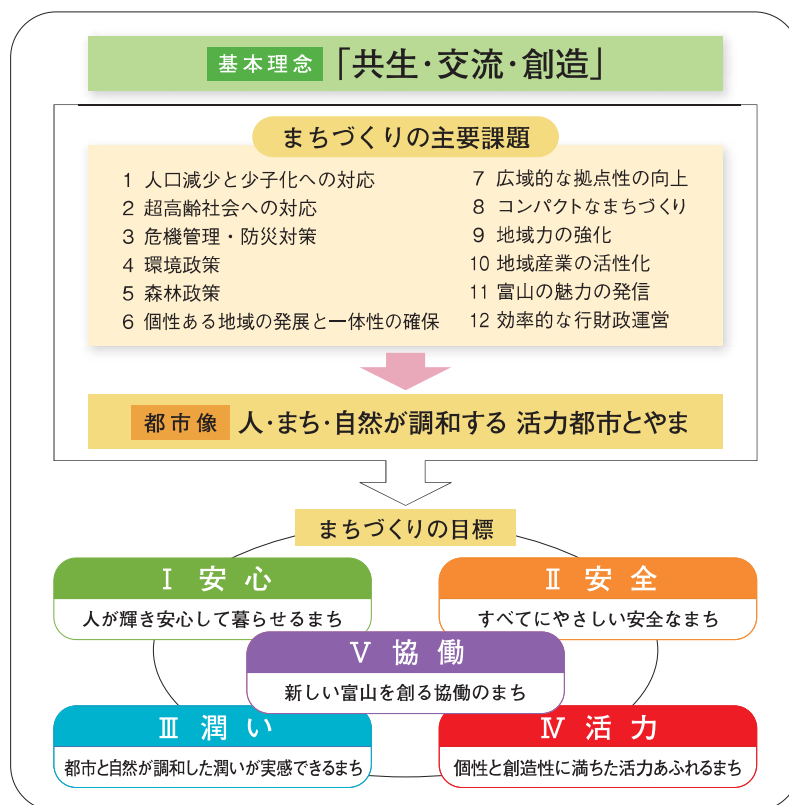
基金は減少傾向にありましたが、近年は維持増加に努めています。

基金の推移（普通会計）

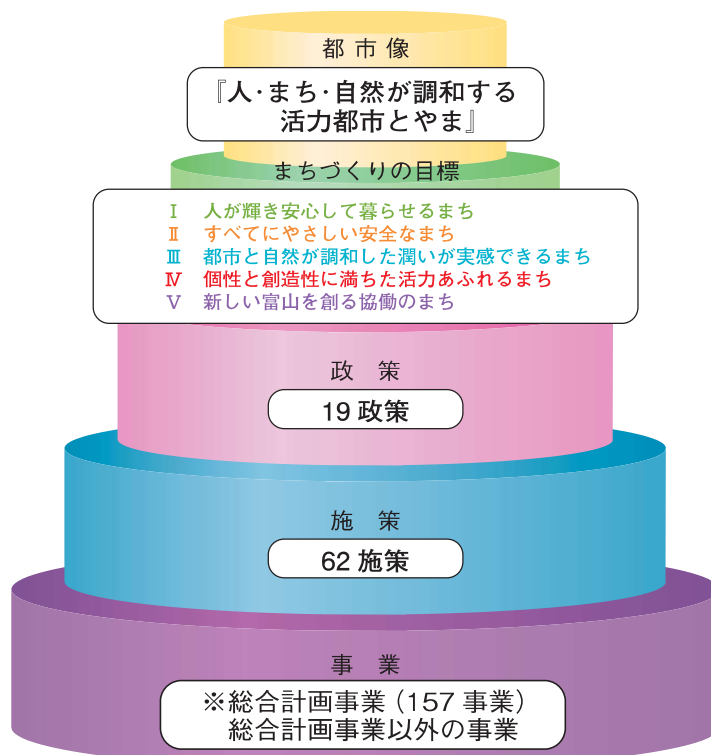


4 総合計画の体系

基本構想で示したまちづくりの主要課題に対応し、本市が目指す都市像「人・まち・自然が調和する活力都市とやま」の実現に向け、目標とする5つのまちづくりを推進します。



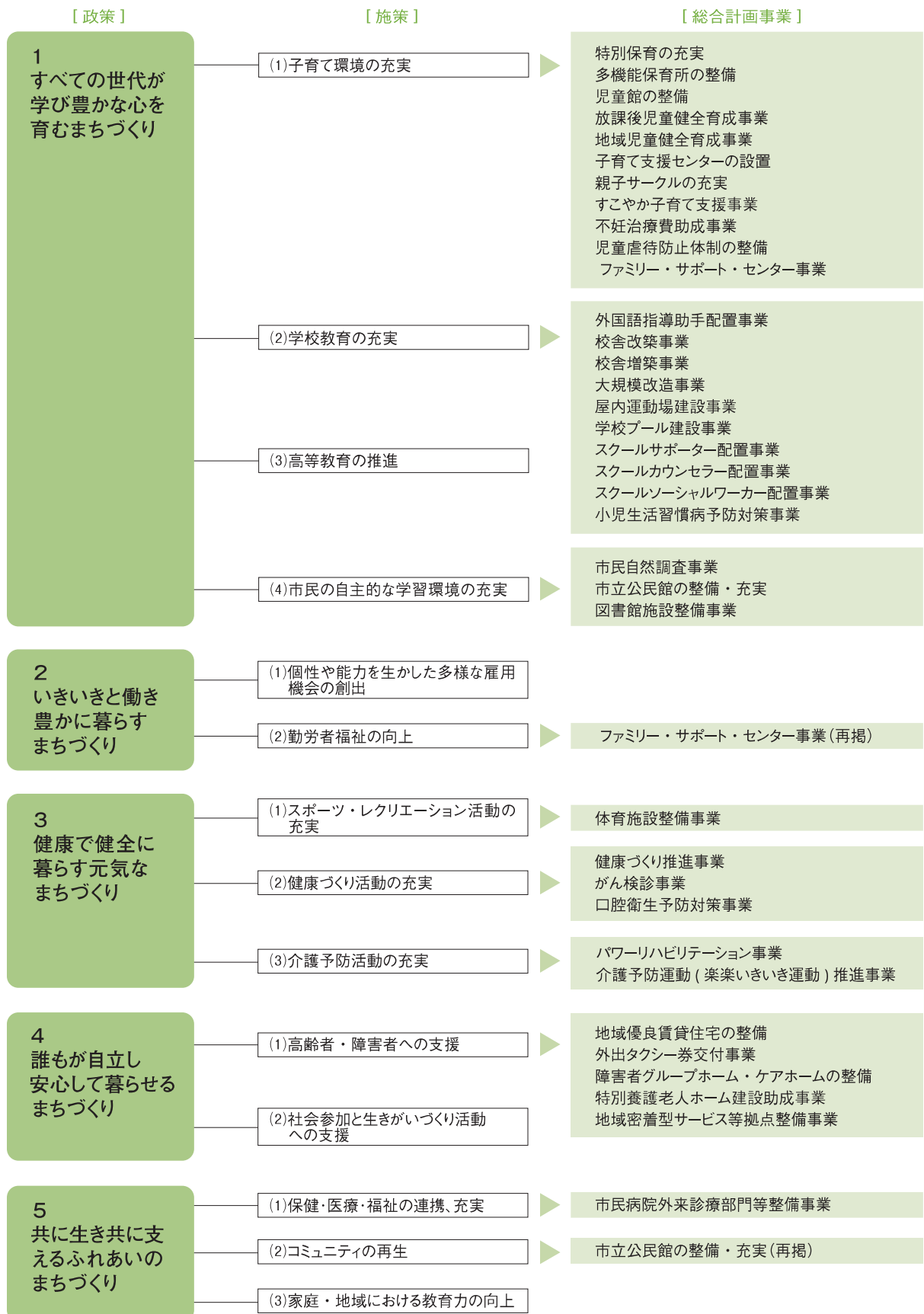
本市が目指す都市像『人・まち・自然が調和する活力都市とやま』を実現するために、5つのまちづくりの目標を設定し、その下に体系的に施策及び総合計画事業を位置づけて目標を明確にした行政を進めます。



※総合計画事業：
施策を実現するための事業のうち、特に計画的・積極的に推進する事業を総合計画事業と位置づけます。

5 まちづくりの目標実現のための施策の体系

目標Ⅰ 人が輝き「安心」して暮らせるまち



保育サービスの拡充や子育てに関する相談体制の充実を図ることにより、子どもを生み育てやすい社会づくりを目指す。

■親子サークルの充実



保育所（園）などで開催。親子で一緒に遊んだり、子育てに関する相談や情報交換を行う。

■ファミリー・サポート・センター事業



育児の援助をしてほしい人と育児の援助を提供したい人とが相互援助活動を行う会員組織。

確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を目指し、生きる力を育むための教育活動を推進。

■外国語指導助手配置事業



■スクールサポーター配置事業

特別な配慮・支援を必要とする児童生徒の学校生活への支援をする補助員

■スクールソーシャルワーカー配置事業

不登校や家庭内暴力など子どもが抱える問題に対し、主に福祉的な視点から解決の支援をする専門員等



指導・相談体制の充実

学校施設の整備充実を図り、安全で快適な教育環境を整備（校舎や体育館の耐震化）。

■校舎改築事業



改築（耐震化）



＜市立学校の耐震化の状況について＞

（平成23年10月1日現在）

		全棟数 (非木造で2階建以上または200㎡ 木造で500㎡超)	新耐震及び 耐震補強済 棟数	耐震化の必要なIs値0.7未満の棟数				耐震 化率 (B÷A)
				Is 値				
				0.3未満	0.3以上 0.6未満	0.6以上 0.7未満		
		(A)	(B)					
小学校	校舎	237	158	79	14	64	1	66.7%
	体育館	77	72	5	1	3	1	93.5%
中学校	校舎	111	83	28	3	23	2	74.8%
	体育館	51	44	7	3	3	1	86.3%
幼稚園		16	12	4	1	2	1	75.0%
計		492	369	123	22	95	6	75.0%

●富山市角川介護予防センターの概要

平成23年7月にオープンした介護予防を専門に行う施設。水中運動療法を中心として、陸上運動療法、温熱療法、パーソナルケアなどを組み合わせた介護予防プログラムを提供。



水中運動療法



- ・多機能温泉プール
- ・スイミングプール
- ・エクササイズプール 等



温熱療法

- ・ドライサウナ・ハمام
- ・エアロゾル 等



陸上運動療法

- ・パワリハ室
- ・スタジオ
- ・トレーニング室
- ・健康測定室 等



パワーリハビリテーション

高齢者が介護を必要とせず、健康に暮らしていけるよう、介護予防活動を推進。

■パワーリハビリテーション事業

■介護予防運動(楽楽いきいき運動)推進事業

病院機能の充実を図る市民病院との連携により、一層のきめ細かな医療を実現。

●富山市・医師会急患センター



<施設概要>

- 1 開設：平成23年10月1日
(富山市民病院駐車場内に整備)
- 2 建物面積：延床面積／1,532.86㎡
建築面積／856.67㎡
- 3 構造：鉄骨造2階建
- 4 診療科目：
内科、小児科および外科に加え、
眼科、耳鼻いんこう科および
皮膚科を追加

■市民病院外来診療部門等整備事業



2階待合室



2階点滴処置室

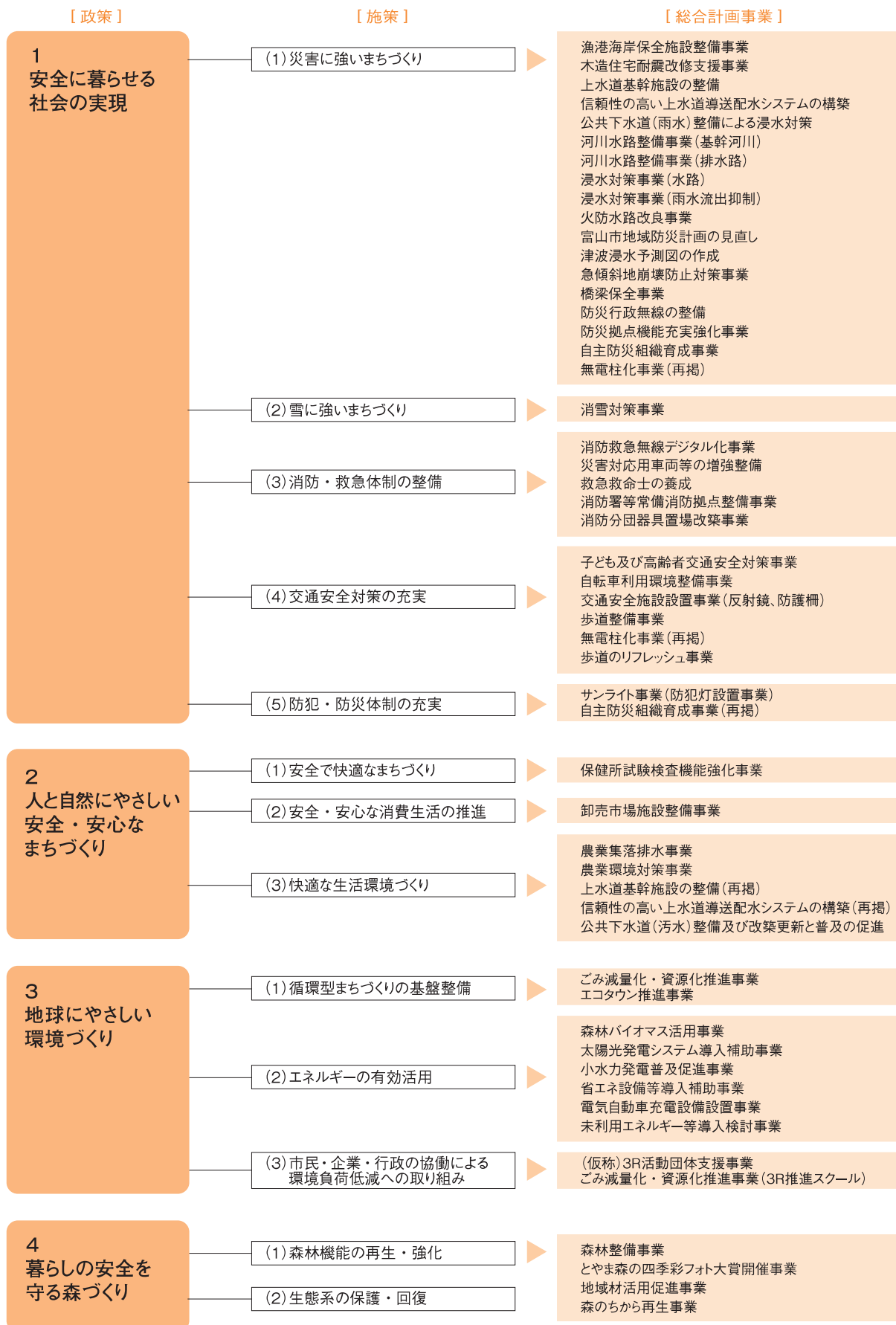


2階眼科



市民病院

目標Ⅱ すべてにやさしい「安全」なまち



目標Ⅱ 政策1-施策(1)

「災害に強いまちづくり」の主な事業

■富山市地域防災計画の見直し

■津波浸水予測図の作成

■河川水路整備事業



この他にも、木造住宅耐震改修支援事業や浸水対策事業など、災害に強いまちづくりを推進。

目標Ⅱ 政策1-施策(3)

「消防・救急体制の整備」の主な事業

多様な災害や地震等大規模災害に迅速かつ的確に対応するために、消防車両等の充実、消防拠点の整備、市民への防災意識の啓発を推進。

■消防署等常備消防拠点整備事業



旧耐震基準で建築された常備消防拠点について計画的に整備を進めます。



広報活動を積極的に展開するとともに、住宅用火災警報器の普及率の向上を図ります。

■救急救命士の養成

■災害対応車両等の増強整備



救急救命士を確保し、高度な救命処置による救命効果の向上を図ります。

目標Ⅱ 政策3－施策(2)

「エネルギーの有効活用」の主な事業

再生可能エネルギーの活用（バイオマス、太陽光発電、小水力発電）、次世代自動車の普及促進、省エネルギー対策の推進、未利用エネルギーの活用を促進。

小水力発電普及促進事業

環境モデル都市行動計画の推進



常西合口用水に整備した小水力発電所



森林バイオマス活用事業

民間



平成 22 年 3 月 25 日竣工

木質ペレット製造施設

太陽光発電システム導入補助事業



住宅用太陽光発電システムの普及促進

電気自動車充電設備設置事業



電気自動車の普及促進



環境未来都市に選定

目標Ⅱ 政策4－施策(1)

「森林機能の再生・強化」の主な事業

市域の約7割を占める森林の公益的機能の再生・強化を図り、市民共通の財産として守り育てる。

地域材活用促進事業



森林整備事業



森のちから再生事業



(森林整備面積 250ha / 年間)

森林の持つ公益的機能の再生・強化を図るとともに、生態系に配慮し、野生生物との共生を図る

＜森林の持つ公益的機能＞

- ・ 地球温暖化の防止
- ・ 土砂災害など自然災害の防止
- ・ 水源のかん養
- ・ クマなど動植物の生息、生育の場
- ・ 林産物の供給 など



過疎化・高齢化の進展に伴う森林管理の担い手の減少
⇒ 手入れされずに放置されている人工林・里山林の増加



対策

- 人工林の計画的かつ緊急的な間伐などの実施
- 林業雇用環境の整備
- 木材資源の利活用の促進と循環利用への取り組み

「NPO法人きんたろう倶楽部」など、多様な森林ボランティア組織と連携を図り、豊かな森づくりに取り組むとともに、森林機能の重要性の啓発を図る

目標Ⅲ 都市と自然が調和した「潤い」が実感できるまち



富山駅周辺整備の基本方針

- ・県都富山の新たな顔をつくる
- ・多彩な公共交通を快適につなぐ
- ・都市拠点としての機能をそなえる

■富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業

■富山駅周辺地区土地区画整理事業

富山駅周辺景観デザイン



新幹線駅舎(富山駅南口)イメージ図

- 富山の歴史や自然を活かした駅舎及び駅前広場のデザイン
- 環境負荷低減に配慮した駅周辺整備の実現
- 鉄軌道・バス・タクシー等がコンパクトにつながる交通結節点の整備
- 駅南北の一体化・南北軸の強化
- ユニバーサルデザインによる安全で快適な駅・駅前広場の整備
- 広域商業機能の強化
- 文化交流機能の充実



南北自由通路のイメージ



在来線駅舎(富山駅北口)のイメージ

富山駅の連続立体交差事業が完成した後に、路面電車化した富山港線と市内軌道を接続。

路面電車ネットワークの形成

■路面電車の南北接続事業



路面電車の南北接続(イメージ)



富山ライトレール



市内電車環状線



市内電車(富山地方鉄道)

政策 1- 施策 (1)
政策 3- 施策 (2)

「賑わいと交流の都市空間の整備・充実」の主な事業
「まちなか居住の推進」の主な事業

中心市街を活性化し、まちの賑わい創出とコンパクトなまちづくりの推進。

■ まちなか再生推進事業（西町東南地区市街地再開発事業）

■ まちなか再生推進事業（西町南地区市街地再開発事業）



市民が気軽に集い、憩える「文化・情報交流拠点」としてガラス美術館・図書館本館を整備。

西町南地区複合施設整備事業

■まちなか再生推進事業（西町南
地区市街地再開発事業）（再掲）

文化や芸術の振興を図り、賑わい空間を創出



目標Ⅳ 個性と創造性に満ちた「活力」あふれるまち



「ますの寿し」「おわら」「自然」「くすり」などの富山ブランドを活用し、本市の魅力をPRするとともに、さらなる魅力を発掘。

■商品力向上支援事業

「富山やくぜん」の普及

くすりのまち富山の伝統を活かし、地場産の素材を使用した健康に良くて美味しい料理等を「富山やくぜん」として認定。

■富山の物産魅力発信事業



「ホットして富山市」PR事業

東京の銭湯の壁面の富士山を立山に塗り替えることで、雄大な富山市の自然をPR



ガラスをテーマとした政策をまちづくりの柱のひとつとして、人材の育成、産業化の推進、芸術の振興を推進。

■ガラスの街づくり事業

人材の育成

富山ガラス造形研究所



ガラス造形に関する専門的知識及び技術の学習によりガラス造形制作者として有能な人材を育成。

産業化の推進

越碧（コシノアオ）



越碧（コシノアオ）等の新素材ガラスを研究開発することにより、地域産業化を推進。

芸術の振興



現代ガラス大賞展・富山2011 大賞作品

新ガラス工房が平成24年度にオープン予定



地場農林水産物の生産振興と地産地消の拡大を目的として「富山とれたてネットワーク（地場もん屋）」を推進。

■富山とれたてネットワーク事業



総本店 1 店舗、地域店 7 店舗、加盟店約180店舗



加盟店のぼり



地場もん屋総本店（総曲輪通り）では、市内全域の特色ある地場農林水産物をPR及び販売促進。

企業団地の造成や企業訪問などを通じて企業誘致を推進し、市内の産業を活性化させ、雇用の確保を促進。

■企業団地造成事業



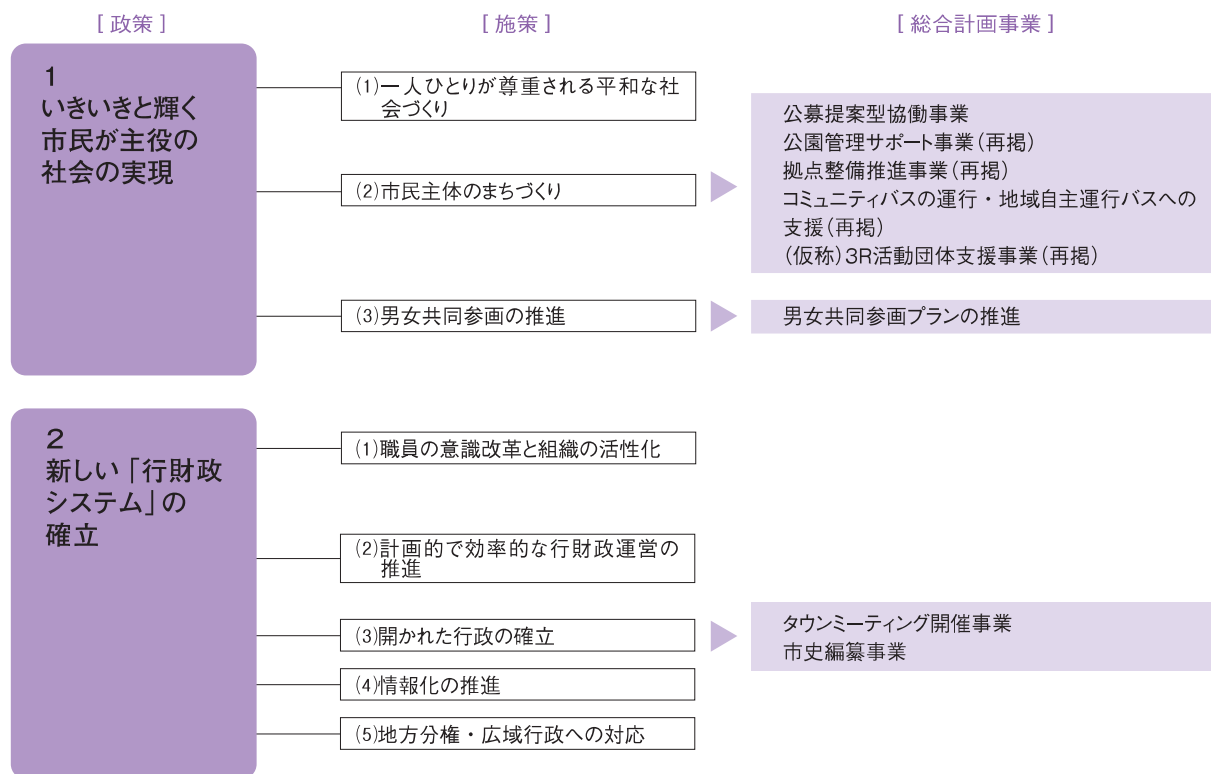
＜市内の主な企業団地等＞

- ・呉羽南部企業団地
- ・金屋企業団地
- ・大沢野西部企業団地
- ・熊野北部企業団地
- ・西本郷企業団地
- ・富山八尾中核工業団地 ほか（全16箇所）

平成17年度以降、市外から20社を誘致

日本海側屈指の工業集積
自然災害が少なく恵まれた自然環境
交通・コンテナ航路など流通の利便性
強み(特徴)を活かした企業立地の推進

目標Ⅴ 新しい富山を創る「協働」のまち



目標Ⅴ 政策1ー施策(2)

「市民主体のまちづくり」の主な事業

市民と行政がともに手を携えてさまざまな地域課題に取り組む、市民主体のまちづくりを展開。

■公募提案型協働事業

■拠点整備推進事業

■(仮称)3R活動団体支援事業

ふるさと富山美化大作戦

事業概要

各地区(校下)単位での清掃活動のほか、市内7ヶ所に重点清掃場所を設けて、清掃活動を毎年実施。

<清掃活動の事例>

- ① 市道・県道の歩道や駅周辺等の清掃
- ② 公共の場所等の除草
- ③ 落書き消し活動 など

約7万人の市民の
皆さんが参加



男女共同参画に向けたさまざまな施策を総合的に推進し、男女が等しく一人ひとりの個性と能力を発揮できる良好な環境を整備。

■男女共同参画プランの推進



「情報交流誌」の発行



「小学生を対象とした男女平等意識を育む啓発冊子」の発行

6 主な市民に期待する役割、目標とする指標

市民に期待する役割 (抜粋)

「市民に期待する役割」を示すことにより、市政への市民参画を促し、市民と行政による協働のまちづくりを目指すこととしています。

安心

- ・保育所等を拠点とした親子サークルや、子育て家庭と地域住民との交流会等に参加する
- ・定期的に各種健康診断を受け、疾患の早期発見に努めるとともに、地域で取り組む健康づくりを推進する

安全

- ・災害発生時において、救援・救助活動や復旧支援活動に協力する
- ・「3R」を積極的に推進し、ごみの減量や資源化に努める

潤い

- ・中心市街地を訪れる際は、公共交通の利用に努める
- ・中山間地域の農業、自然環境の価値・役割を認識し、棚田や里山林などの保全活動に参加する

活力

- ・観光イベントに積極的に参加する
- ・消費者は、地場産品についての理解を深め、購入に努める

協働

- ・身近な公園や歩道の清掃などの地域活動に積極的に参加する
- ・市政情報や市役所出前講座等を活用し、まちづくりについて考える

目標とする指標 (抜粋)

施策を実施することによって得られる成果を表す指標(数値)を示すことにより、施策の目標を明確にすることとしています。

安心

- ・放課後児童健全育成事業の年間利用人数 97,660人(平22年度)→125,000人
- ・健康な高齢者の割合 82.6%(平22年度)→80%以上

安全

- ・住宅の耐震化率 76%(平23年度)→85%
- ・住宅用太陽光発電システム設置補助件数 356件(平22年度)→500件

潤い

- ・総人口に占める公共交通が便利な地域に居住する人口の割合 32%(平17年)→35%
- ・公共交通利用者数 62,432人(平21年度)→64,000人

活力

- ・観光庁観光客入込統計調査による宿泊者数 1,278,212人(平22年)→1,406,000人
- ・製造品出荷額等 9,956億円(平22年)→11,300億円

協働

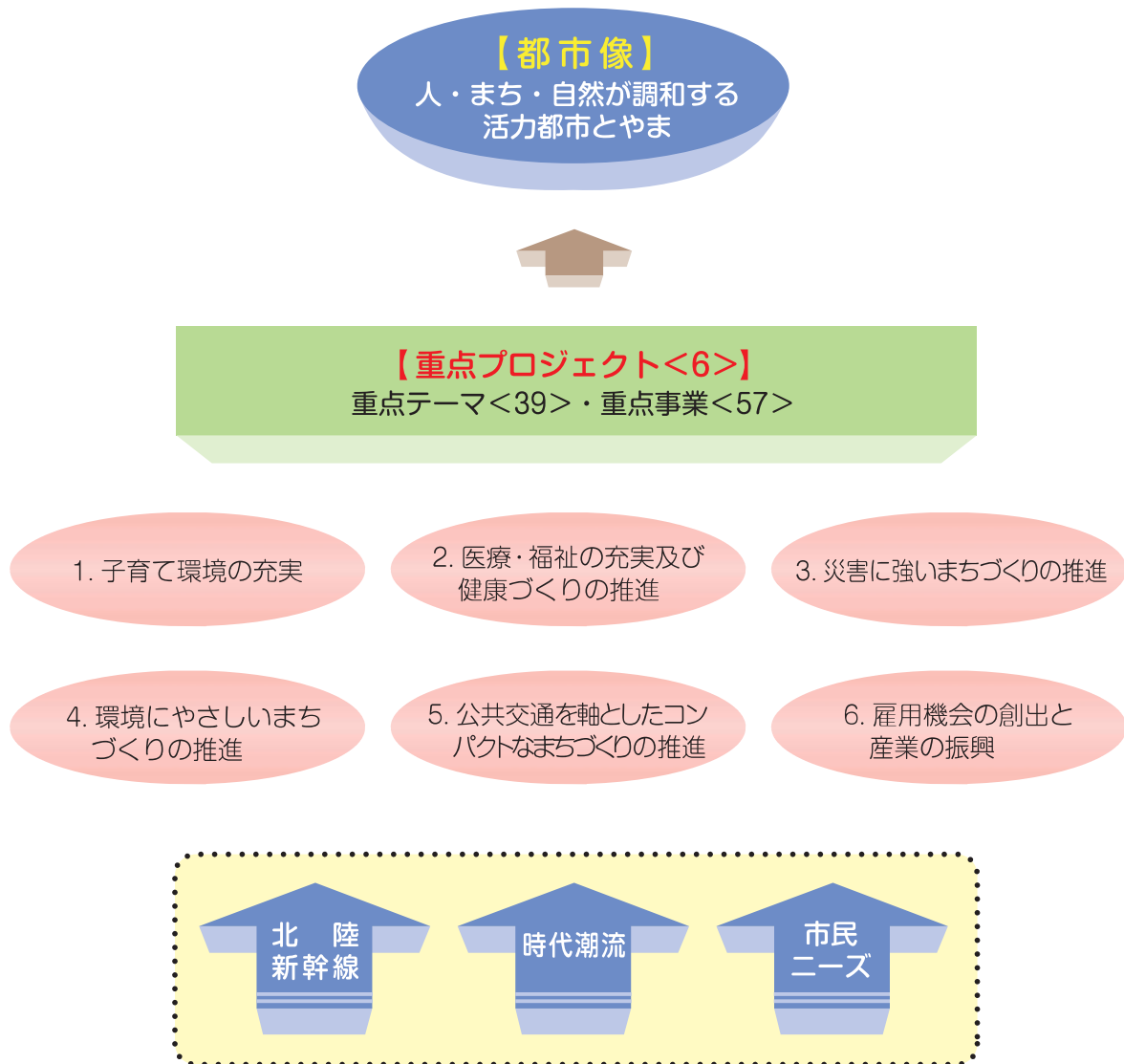
- ・NPO法人数 132法人(平22年度)→190法人

7 重点プロジェクト

【選定の視点】

後期基本計画期間内に推進する取り組みのうち、次の視点により特に優先的・重点的な取り組みを厳選し、新たな重点プロジェクトとして位置づける。

- ①北陸新幹線の開業を踏まえ、広域交流拠点都市の形成に寄与する事業
- ②時代潮流を踏まえ、緊急かつ優先的な取り組みが必要である事業
- ③市民の関心が高く、強く求められている事業



【まちづくりの目標<5>・総合計画事業<157>】

- I 人が輝き安心して暮らせるまち
- II すべてにやさしい安全なまち
- III 都市と自然が調和した潤いが実感できるまち
- IV 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち
- V 新しい富山を創る協働のまち

重点プロジェクト一覧

重点プロジェクト	重点テーマ	重点事業	重点プロジェクト	重点テーマ	重点事業
1 子育て環境の 充実 (8事業)	保育所など児童福祉施設の整備・充実	多機能保育所の整備 児童館の整備	4 環境にやさしい まちづくりの 推進 (7事業)	自転車利用者の快適性と安全の確保	自転車利用環境整備事業
	児童健全育成事業の充実	放課後児童健全育成事業 地域児童健全育成事業		ごみの減量とリサイクルの推進	ごみ減量化・資源化推進事業
	子育てと仕事の両立支援	ファミリー・サポート・センター事業		バイオマスエネルギーの活用	森林バイオマス活用事業
	学校教育環境の整備	校舎改築事業		太陽光発電の導入促進	太陽光発電システム導入補助事業
		大規模改造事業 屋内運動場建設事業		小水力発電の普及促進	小水力発電普及促進事業
2 医療・福祉の 充実及び健康 づくりの推進 (8事業)	スポーツ・レクリエーション拠点の整備・充実	体育施設整備事業	5 公共交通を軸 としたコンパクトなまちづくり の推進 (15事業)	省エネ設備の導入促進	省エネ設備等導入補助事業
	からだの健康づくりの推進	健康づくり推進事業 がん検診事業		未利用エネルギー等の活用	未利用エネルギー等導入検討事業
	高齢者・障害者にやさしい環境づくり	地域優良賃貸住宅の整備		北陸新幹線の開業を見据えた富山駅周辺の都市拠点づくり	富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業 路面電車の南北接続事業 富山駅周辺地区土地区画整理事業
	障害者の自立支援の充実	障害者グループホーム・ケアホームの整備		中心市街地の賑わい再生	新規出店サポート事業 おでかけ定期券事業 西町南地区複合施設整備事業
	介護サービス基盤の整備	特別養護老人ホーム建設助成事業 地域密着型サービス等拠点整備事業		コンパクトなまちの実現に向けた整備計画の推進	コンパクトなまちづくり推進事業
3 災害に強いまち づくりの推進 (16事業・うち 再掲3事業)	市民病院の充実	市民病院外来診療部門等整備事業	6 雇用機会の創出 と産業の振興 (7事業・うち 再掲1事業)	公共交通沿線居住の推進	公共交通沿線居住推進事業
	学校教育環境の整備(再掲)	校舎改築事業(再掲) 大規模改造事業(再掲) 屋内運動場建設事業(再掲)		住宅ストック活用による歩いて暮らせるまちづくり	住宅ストック活用推進事業
		公共下水道(雨水)整備による浸水対策		まちなか居住の推進	まちなか居住推進事業
	浸水対策の強化	浸水対策事業(雨水流出抑制) 火防水路改良事業		公共交通の利用促進	公共交通利用促進啓発事業
		木造住宅耐震改修支援事業 富山市地域防災計画の見直し		基幹交通の利便性向上	バス交通維持活性化支援事業 鉄軌道維持活性化事業
	地震対策の強化	漁港海岸保全施設整備事業 津波浸水予測図の作成		生活交通の確保	コミュニティバスの運行・地域自主運行バスへの支援
	津波対策の強化	信頼性の高い上水道導送配水システムの構築 橋梁保全事業 防災行政無線の整備		新たな芸術文化の創造への支援	ガラスの街づくり事業
	災害への対応機能の強化	自主防災組織育成事業		子育てと仕事の両立支援(再掲)	ファミリー・サポート・センター事業(再掲)
	防災意識の啓発	消防救急無線デジタル化事業		スキー場と温泉施設等との連携	立山山麓活性化事業
	多様な災害や事故への対応能力の強化	消防署等常備消防拠点整備事業		富山のイメージを高めるブランド化の推進	くすり関連施設整備事業
	地域における消防拠点の整備と機能強化			各産業を支える人材育成	担い手総合支援事業
				地域に根ざした農林漁業への支援	富山とれたてネットワーク事業 農商工連携推進事業
				企業立地の促進	企業団地造成事業



富山駅南口の整備イメージ図

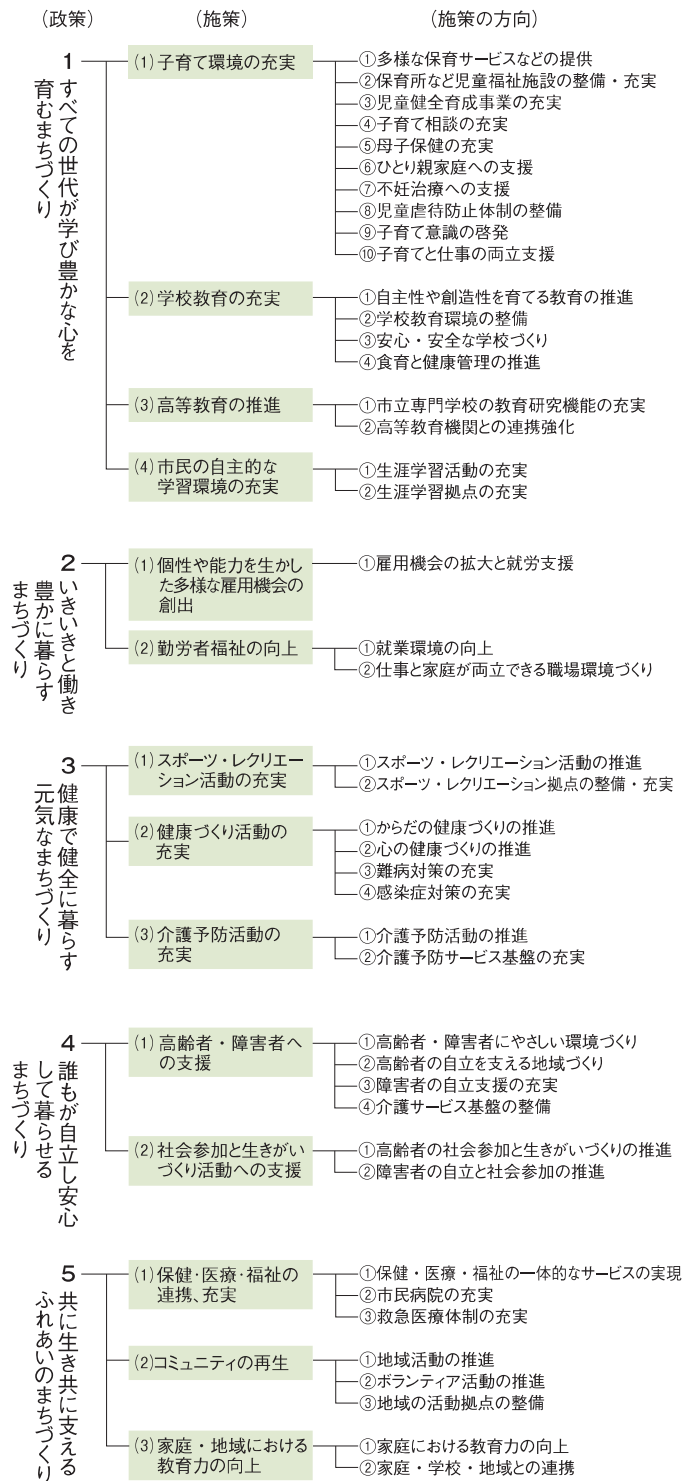


ガラス美術館や図書館本館が入居する再開発ビルの完成イメージ図

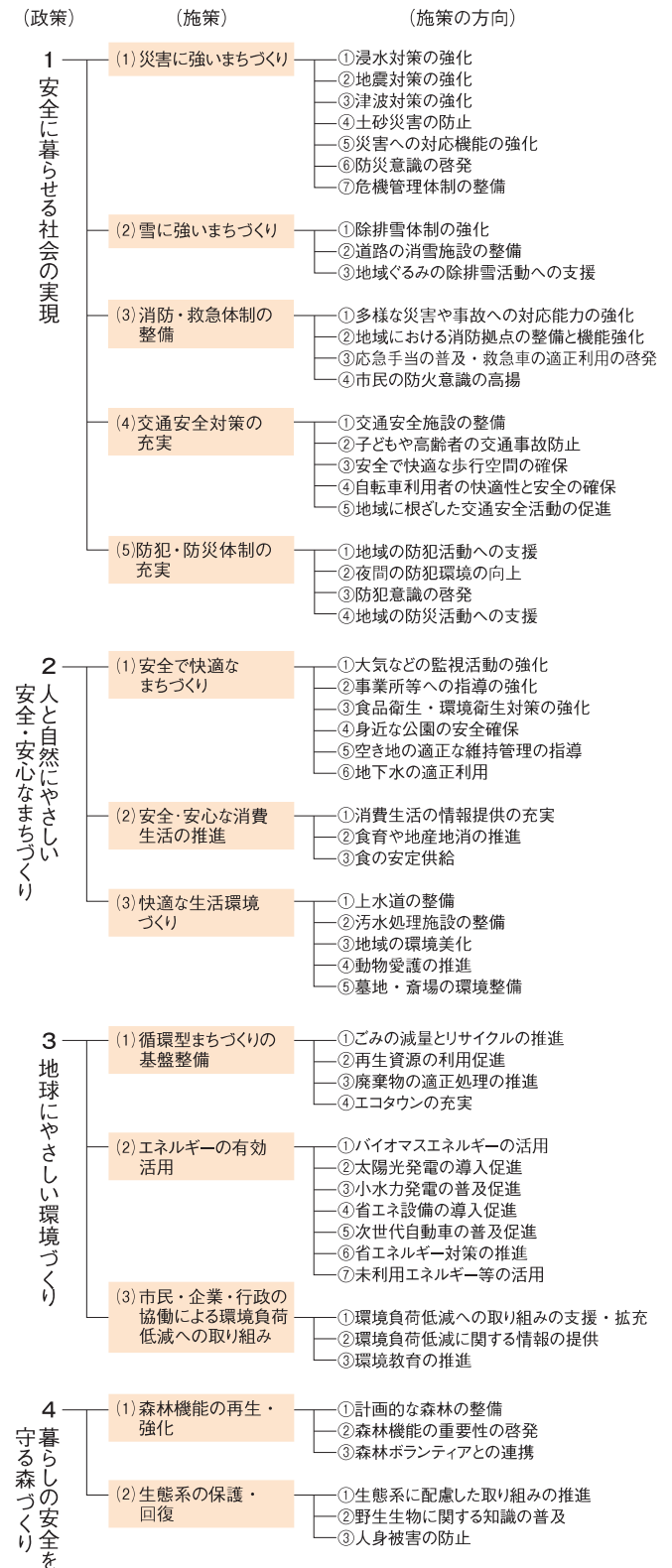
資料編

施策の体系

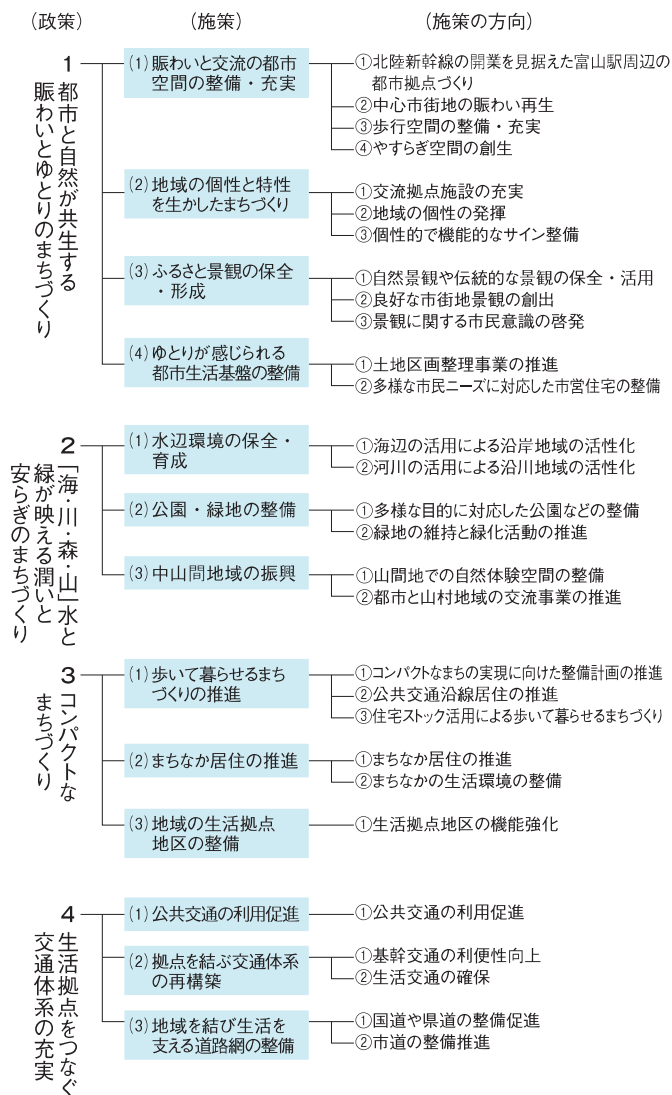
I 人が輝き安心して暮らせるまち



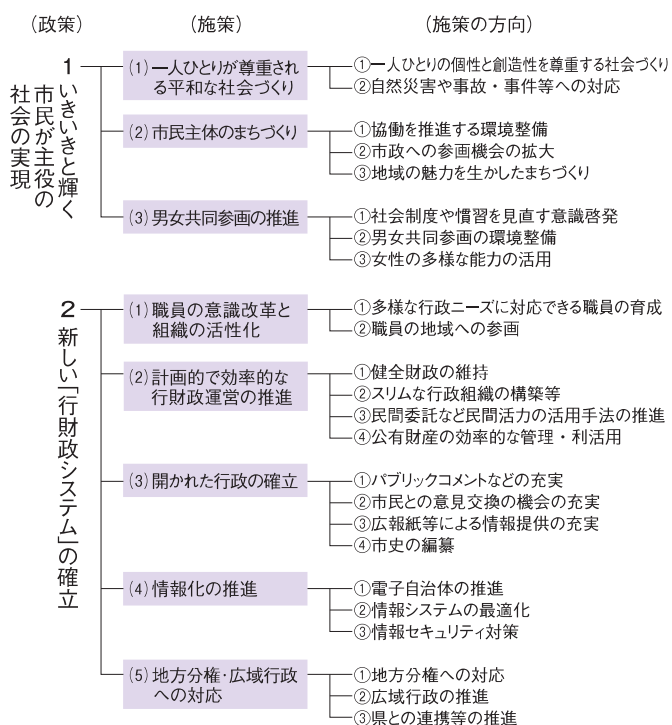
II すべてにやさしい安全なまち



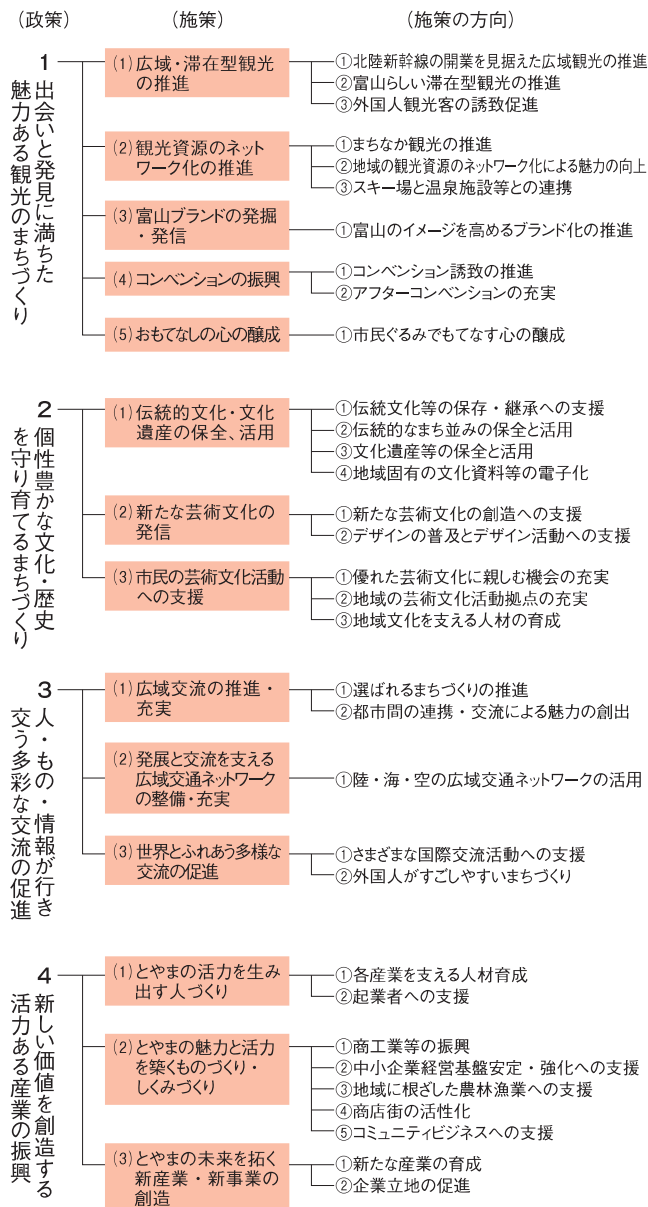
Ⅲ 都市と自然が調和した潤いが実感できるまち



Ⅴ 新しい富山を創る協働のまち



Ⅳ 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち



総合計画事業概要一覧

施策の体系	事業名	平成23年度末現況	事業の概要（24～28年度）	重点プロジェクト
まちづくりの目標Ⅰ 人が輝き安心して暮らせるまち				
I-1-(1)	特別保育の充実	延長保育65箇所、一時保育46箇所、休日保育27箇所、病児・病後児保育4箇所、体調不良児対応型病児・病後児保育21箇所	延長保育2箇所（累計67箇所）、一時保育3箇所（累計49箇所）、休日保育（累計27箇所）、病児・病後児保育1箇所（累計5箇所）、体調不良児対応型病児・病後児保育3箇所（累計24箇所）	
	多機能保育所の整備		市立保育所2箇所の整備	○
	児童館の整備		2箇所の整備	○
	放課後児童健全育成事業	20 箇所	5 箇所（累計 25 箇所）	○
	地域児童健全育成事業	58 箇所	2 箇所（累計 60 箇所）	○
	子育て支援センターの設置	10 箇所	2 箇所（累計 12 箇所）	
	親子サークルの充実	親子サークル実施保育所 51 箇所、親子サークル実施子育て支援センター 7 箇所、親子サークル実施児童館 11 箇所、親子サークル実施児童文化センター 2 箇所	親子サークル実施保育所 5 箇所（累計 56 箇所）、親子サークル実施子育て支援センター 2 箇所（累計 9 箇所）、親子サークル実施児童館（累計 13 箇所）	
	すこやか子育て支援事業	パパママセミナー、母親教室、赤ちゃん教室、妊婦相談、こんにちは赤ちゃん事業、仲間づくりの赤ちゃん教室、乳幼児健康相談、乳幼児アトピー疾患相談、思春期相談	パパママセミナー、赤ちゃん教室、妊婦相談、こんにちは赤ちゃん事業、仲間づくりの赤ちゃん教室、乳幼児健康相談、思春期相談	
	不妊治療費助成事業	体外受精及び顕微授精を受けている夫婦に対して、治療費を助成	事業の継続実施	
I-1-(2)	児童虐待防止体制の整備	要保護児童対策地域協議会の設置	児童虐待防止対策強化のための人材養成、児童虐待防止体制強化のための環境改善	
	ファミリー・サポート・センター事業	会員数 2,550 人、活動回数 6,500 回（23 年度予定）	会員数 1,100 人（累計 3,650 人）、活動回数 1,500 回（累計 8,000 回）	○
	外国語指導助手配置事業	ALT の授業（中学校年間 27 回、小学校 5・6 年生に年間 14 回）	ALT 20 人採用、ALT の授業（中学校年間 29 回、小学校 5・6 年生に年間 17 回）	
	校舎改築事業		小学校 8 校、中学校 2 校	○
	校舎増築事業		事業の継続実施	
	大規模改造事業		小学校 8 校、中学校 4 校	○
	屋内運動場建設事業		小学校 1 校、中学校 1 校	○
	学校プール建設事業		小学校 5 校	
	スクールサポーター配置事業	65 名のスクールサポーターを 75 校に派遣（小学校 57 校、中学校 18 校）	事業の継続実施	
I-1-(4)	スクールカウンセラー配置事業	6 名のスクールカウンセラーを小学校 8 校に派遣	毎年派遣校を増やす（28 年度までに 15 校）	
	スクールソーシャルワーカー配置事業	4 名のスクールソーシャルワーカーを 8 校に派遣（小学校 5 校、中学校 3 校）	スクールソーシャルワーカーの増員	
	小児生活習慣病予防対策事業	すこやか検診の実施（小学校 4 年生、中学校 1 年生） すこやか教室の開催（小学校 2 回、中学校 2 回）	事業の継続実施	
	市民自然調査事業	調査方法等の検討	市全域の自然環境調査の実施	
	市立公民館の整備・充実		9 館整備	
	図書館施設整備事業		図書館本館の移転改築及び蔵書の充実	
	ファミリー・サポート・センター事業（再掲 I-1-(1)）	会員数 2,550 人、活動回数 6,500 回（23 年度予定）	会員数 1,100 人（累計 3,650 人）、活動回数 1,500 回（累計 8,000 回）	○
	I-3-(1) 体育施設整備事業	屋内競技場建設	プール 2 箇所、スポーツパーク建設、スポーツ施設整備・耐震改修	○
	I-3-(2) 健康づくり推進事業	富山市健康プラン 21 の推進、地域健康づくり展の開催、ライフスタイルいきいき大作戦事業、プラス 1,000 歩富山市民運動、健康づくり意識調査	事業の継続実施	○
I-3-(3)	がん検診事業	各種がん検診の充実及び受診率の向上、がん予防の啓発、健診事後管理の徹底、がん予防の充実及び強化	各種がん検診の充実及び受診率の向上、がん予防の啓発、健診事後管理の徹底、がん検診の推進	○
	口腔衛生予防対策事業	むし歯予防事業、各種健診での成人へのむし歯・歯周病予防、ライフスタイルの向上を踏まえた歯と口の健康づくり	事業の継続実施	
	パワースタリオン事業	4 箇所×1 クール	事業の継続実施	
	介護予防運動（楽あいいきいき運動）推進事業	指導者の育成、「楽あいいきいき運動」の普及啓発、（30 単位老人クラブで実施）	事業の継続実施、小学校区単位に指導者、実践団体を確保	
	I-4-(1) 地域優良賃貸住宅の整備	完成戸数 120 戸	250 戸増（累計 370 戸）	○
	外出支援タクシー券交付事業	利用者数 280 人（23 年度予定）	事業の継続実施	
	障害者グループホーム・ケアホームの整備	定員 219 人（22 年度末）	利用見込量に応じた定員の増	○
	特別養護老人ホーム建設助成事業	床数（従来型）1,770 床、床数（ユニット型）165 床、個室・ユニット化率 31.9%	在宅での生活継続が困難な要介護者の状況に応じ整備、個室・ユニット化率 40%	○
	地域密着型サービス等拠点整備事業	小規模多機能型居宅介護事業所 26 箇所、小規模特別養護老人ホーム 8 箇所、認知症高齢者グループホーム 39 箇所、認知症対応型デイサービス事業所 22 箇所、夜間対応型訪問介護事業所 1 箇所	地域バランス等に配慮しながら整備を実施 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（新設）、複合型サービス（新設）	○
I-5-(1)	市民病院外来診療部門等整備事業		西病棟 8 階改修工事、外来診療部門改修工事	○
I-5-(2)	市立公民館の整備・充実（再掲 I-1-(4)）		9 館整備	
まちづくりの目標Ⅱ すべてにやさしい安全なまち				
Ⅱ-1-(1)	漁港海岸保全施設整備事業	測量・施設調査	離岸堤の機能強化・延伸、消波ブロックの機能回復	○
	木造住宅耐震改修支援事業	木造住宅の耐震改修費用に対する補助 18 件	事業の継続実施	○
	上水道基幹施設の整備	配水施設の整備・更新（配水池の総容量 134,897m ³ ）、地下水源の整備（紫外線処理施設 5 施設）	施設更新事業（配水池新設・増設 3 施設、計装設備更新 11 施設、電気・機械設備更新 1 施設）、地下水源の整備（紫外線処理設備 14 施設（累計 19 施設））	
	信頼性の高い上水道導送配水システムの構築	配水幹線の整備済延長 21.44km（新設 9.14km、更新 12.30km）	配水幹線の整備 新設 5.50km（累計 14.64km）、更新 3.50km（累計 15.80km）、老朽水道管の整備 老朽管更新 72km	○
	公共下水道（雨水）整備による浸水対策	雨水幹線等の整備延長 47,242 m見込み（貯留池など 4 箇所）、合流式下水道区域雨水貯留施設設計：一式（V=20,000m ³ ）	雨水幹線等の整備延長 4,873.7 m（累計 52,115.7 m）（貯留池など 3 箇所：累計 7 箇所）、合流式下水道区域雨水貯留施設工事：一式（V=20,000m ³ ）	○
	河川水路整備事業（基幹河川）	河川 1,271m	河川 1,080 m	
	河川水路整備事業（排水路）	排水路 5,731m	排水路 2,640 m	
	浸水対策事業（水路）	河川等 3,361m	河川等 6,410 m	
	浸水対策事業（雨水流出抑制）	雨水流出抑制施設 7 箇所、水田貯留 140 ha	雨水流出抑制施設 9 箇所、水田貯留 5 箇所	○
	火防水路改良事業	火防水路 369 m	火防水路 1,400 m	○
	富山市地域防災計画の見直し	平成 18 年度に計画策定後毎年見直しを実施	富山市地域防災計画の見直し（毎年度）	○
	津波浸水予測図の作成		津波浸水予測図作成（24 年度）	○
	急傾斜地崩壊防止対策事業	施工地区 8 地区、法面施工延長 480 m	施工地区 14 地区、法面施工延長 630 m	
	橋梁保全事業		橋梁長寿命化修繕計画策定（24 年度）、橋梁保全工事：神通大橋（下流）外 44 橋	○
	防災行政無線の整備	神通川・常願寺川に同報系無線を増設、移動系無線をデジタル方式へ移行	事業の継続実施	○

施策の体系	事業名	平成23年度末現況	事業の概要 (24～28年度)	重点プロジェクト
Ⅱ-1-(1)	防災拠点機能充実強化事業	新避難標識の整備済数 110 箇所、主食用クラッカー等の備蓄日数 1.00 日	新避難標識の整備数 111 箇所 (累計 221 箇所)、主食用クラッカー等の備蓄日数 1.00 日	
	自主防災組織育成事業	自主防災組織の活動費及び資機材等の購入に対する補助 33.8% (22 年度末自主防災組織結成率)	組織の拡充 70% (28 年度末自主防災組織結成率)	○
Ⅱ-1-(2)	無電柱化事業 (再掲Ⅲ-1-(3))	整備延長 330m (23 年度予定)	整備延長 1.0km	
	消雪対策事業	消雪装置設置延長 (市管理及び町内管理) 567.6km	消雪装置設置延長 25kmの増 (累計 592.6km)	
Ⅱ-1-(3)	消防救急無線デジタル化事業		無線設備設計・整備	○
	災害対応用車両等の増強整備		支援車、災害対応用車両、はしご付消防ポンプ車の増強整備	
	救急救命士の養成	救急救命士 76 人	救急救命士 4 人の増 (累計 80 人)	
	消防署等常備消防拠点整備事業		移転改築 1 棟、改築 3 棟	○
Ⅱ-1-(4)	消防分団器具置場改築事業		15 箇所	
	子ども及び高齢者交通安全対策事業	交通安全教室、高齢者運転免許自主返納支援事業	事業の継続実施	
	自転車利用環境整備事業	自転車走行空間整備	基本的な路線の整備、駐輪場整備、自転車利用促進啓発事業、ネットワークの充実を図る路線の整備	○
	交通安全施設設置事業 (反射鏡、防護柵)	反射鏡 57 基、防護柵 610m (23 年度予定)	反射鏡 300 基の増、防護柵 3.0km の増	
	歩道整備事業	整備延長 700m (23 年度予定)	整備延長 1.7km	
	無電柱化事業 (再掲Ⅲ-1-(3))	整備延長 330m (23 年度予定)	整備延長 1.0km	
	歩道のリフレッシュ事業	歩道のリフレッシュ整備済 11.6km	歩道のリフレッシュ整備 3.7km	
Ⅱ-1-(5)	サンライト事業 (防犯灯設置事業)	49,109 灯設置	2,000 灯設置 (累計 51,109 灯)	
	自主防災組織育成事業 (再掲Ⅱ-1-(1))	自主防災組織の活動費及び資機材等の購入に対する補助 33.8% (22 年度末自主防災組織結成率)	組織の拡充 70% (28 年度末自主防災組織結成率)	
Ⅱ-2-(1)	保健所試験検査機能強化事業	20 年 12 月検査棟竣工、21 年 4 月環境部検査部門と保健所検査部門の統合・集約化を実施	食品、水質及び微生物検査に必要な機器の整備	
Ⅱ-2-(2)	卸売市場施設整備事業	施設整備基本計画策定	施設の耐震化・老朽化対策、卸売場の低温化施設の整備	
Ⅱ-2-(3)	農業集落排水事業	54 地区整備	1 地区整備 (累計 55 地区)	
	農業環境対策事業	整備延長 71.3km	2.5km (整備延長 73.8km)	
	上水道基幹施設の整備 (再掲Ⅱ-1-(1))	配水施設の整備・更新 (配水池の総容量 134,897m ³ 、地下水源の整備 (紫外線処理施設 5 施設)	施設更新事業 (配水池新設・増設 3 施設、計装設備更新 11 施設、電気・機械設備更新 1 施設)、地下水源の整備 (紫外線処理設備 14 施設 (累計 19 施設))	
	信頼性の高い上水道導送配水システムの構築 (再掲Ⅱ-1-(1))	配水幹線の整備済延長 21.44km (新設 9.14km、更新 12.30km)	配水幹線の整備 (新設 5.50km (累計 14.64km)、更新 3.50km (累計 15.80km))、老朽水道管の整備 (老朽管更新 72km)	○
Ⅱ-3-(1)	公共下水道 (汚水) 整備及び改築更新と普及の促進	整備区域面積 9,329.51ha (累計)、処理場の長寿化計画 (更新計画) 策定 1 処理場	整備区域面積 118.22ha (累計 9,447.73ha)、処理場の長寿命化計画 (更新計画) 策定・工事着手 4 処理場	
	こみ減量化・資源化推進事業	生ごみリサイクル事業、可燃ごみリサイクル事業、古布リユース・リサイクル事業、小型廃家電リサイクルモデル事業の実施	事業の継続実施	○
Ⅱ-3-(2)	エコタウン推進事業	エコタウン学園の実施等	資源有効利用計画の検討・策定、具体化の協議	
	森林バイオマス活用事業	ペレットボイラー 1 台導入	ペレットボイラー 2 台導入 (累計 3 台)	○
	太陽光発電システム導入補助事業	設置補助の実施	住宅用太陽光発電システム設置補助の実施	○
	小水力発電普及促進事業	常西合口用水に小水力発電所 2 箇所整備	導入可能性調査	○
	省エネ設備等導入補助事業	設備等導入補助の実施	省エネ設備等への導入補助の実施	○
	電気自動車充電設備設置事業	急速充電設備 1 箇所設置	急速充電設備 2 箇所設置 (累計 3 箇所)	
Ⅱ-3-(3)	未利用エネルギー等導入検討事業 (仮称) 3 R 活動団体支援事業		導入可能性調査	○
	こみ減量化・資源化推進事業 (3 R 推進スクール)	幼稚園 2 校・小学校 15 校で実施	P R の実施、補助の実施	
Ⅱ-4-(1)	森林整備事業	森林整備面積 207ha / 年間	森林整備面積 250ha / 年間	
	とやま森の四季彩フォト大賞開催事業	第2回から第5回まで4回開催	3年に1回のトリエンナーレ方式での開催	
	地域材活用促進事業	地域材使用住宅への補助の実施 71 件、市内産材活用 P R 活動補助 6 件、代替エネルギー用材搬出促進補助	市内産材活用 P R 活動補助 6 件 / 年、代替エネルギー用材搬出促進補助	
	森のちから再生事業	とやまの森づくりサポートセンターへの登録数 47 団体、市民参加による里山林整備累計面積 47ha	とやまの森づくりサポートセンターへの登録数 20 団体 (累計 70 団体)、市民参加による里山林整備累計面積 98ha	
まちづくりの目標Ⅲ 都市と自然が調和した潤いが実感できるまち				
Ⅲ-1-(1)	富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業	富山駅付近連続立体交差事業 (L=1.8km、事業進捗率 23.7%)	事業進捗率 100%	○
	路面電車の南北接続事業	南北接続に係る設計業務 (駅周辺デザイン基本計画策定事業進捗率 2.9%)	事業進捗率 75.6%	○
	富山駅周辺地区土地区画整理事業	富山駅周辺地区土地区画整理事業 (A = 10.4ha、事業進捗率 44.0%)	事業進捗率 99.8%	○
	コミュニティバスの運行	中央ルート 1 日 28 便 8.4 人 / 便・日 清水町ルート 1 日 31 便 12.7 人 / 便・日	事業の継続実施	
	まちなかポイントサービス事業	1.2 万人 (23 年度利用者数)	事業の継続実施 利用者数 12 万人 (2.4 万人×5 年)	
	新規出店サポート事業	7 店舗 (23 年度新規出店数)	事業の継続実施 新規出店 50 店舗 (10 店舗×5 年)	○
	おでかけ定期券事業	90 万人 (23 年度利用者数)	事業の継続実施 利用者数 500 万人 (100 万人×5 年)	○
	城址公園整備事業	施設整備 事業進捗率 69%	施設整備 事業進捗率 87%	
	まちなか再生推進事業 (西町南地区市街地再開発事業)	22 年都市計画決定	26 年度完成予定	
	西町南地区複合施設整備事業		ガラス美術館整備・運営事業、図書館本館移転改築事業	○
	道路景観形成事業		整備延長 590m	
Ⅲ-1-(3)	花でつながるフラワーリング事業	183 箇所設置	事業の継続実施	
	街区公園再整備事業		施設整備 5 公園	
	歴史的まち並み修景等整備事業	伝統的家屋及び一般建築物などの修景、空家活性化事業	事業の継続実施	
	屋外広告物適正化事業	既存不適格屋外広告物の是正補助件数 2 件	既存不適格屋外広告物の是正補助	
	無電柱化事業	整備延長 330m (23 年度予定)	整備延長 1.0km	
Ⅲ-1-(4)	景観まちづくり推進事業	景観まちづくり推進区域の指定件数 2 件	景観まちづくり推進区域の指定	
	組合等施行土地区画整理事業	補助金交付 4 組合	事業の継続実施	
Ⅲ-2-(1)	山室第2土地区画整理事業	事業進捗率 86.6%	事業の早期完成	
	市営住宅整備事業	市営住宅戸数 4,855 戸	158 戸の建替え、96 戸の借上げ	
Ⅲ-2-(2)	水辺空間整備事業	水辺空間整備 2 河川	水辺空間整備 1 河川 (累計 3 河川)	
	総合公園整備事業		施設整備 2 公園、用地取得 2 公園	
	地区公園整備事業		施設整備 1 公園、用地取得 2 公園	
	近隣公園整備事業		施設整備 4 公園、用地取得 4 公園	
	街区公園再整備事業 (再掲Ⅲ-1-(1))		施設整備 5 公園	
Ⅲ-2-(3)	ファミリーパーク整備事業	施設整備 (自然生態園)	施設整備 (森といきもの体験ゾーン・どうぶつ探訪ゾーン・つどいのゾーン)	
	公園管理サポート事業	公園サポート活動実施公園 5 公園	公園サポート活動実施公園 3 公園 (累計 8 公園)	
	自然公園等整備事業	森林・自然公園等 7 箇所	公園施設整備の継続実施	
	中山間地域等農業活性化支援事業	とやま棚田保全事業の実施	事業の継続実施 (都市住民連携 30 組織、水田夏期湛水 10ha)	

施策の体系	事業名	平成23年度末現況	事業の概要 (24～28年度)	重点プロジェクト
Ⅲ-2-(3)	都市農山漁村交流推進事業	グリーンツーリズム事業の推進、都市農山村交流・農業自然体験の推進	グリーンツーリズム事業の継続実施、とやまスローライフ・フィールドの運営、「(仮称) 第二とやまスローライフ・フィールド」の整備及び運営	
Ⅲ-3-(1)	コンパクトなまちづくり推進事業		都市マスタープランの見直し、パンフレットの作成、配布	○
	公共交通沿線居住推進事業	補助対象戸数 600 戸	補助対象戸数 900 戸の増 (累計 1,500 戸)	○
	住宅ストック活用推進事業		登録件数 50 件	○
Ⅲ-3-(2)	まちなか居住推進事業 まちなか再生推進事業 (西町東南地区市街地再開発事業)	補助対象戸数 550 戸 21 年都市計画決定	補助対象戸数 730 戸の増 (累計 1,280 戸) 24 年度完成予定	○
Ⅲ-3-(3)	拠点整備推進事業		アドバイザーの派遣、まちづくり計画策定費補助	
Ⅲ-4-(1)	公共交通利用促進啓発事業	公共交通利用啓発リーフレットの作成・配布など	事業の継続実施	○
Ⅲ-4-(2)	バス交通維持活性化支援事業	生活バス路線等維持支援	事業の継続実施	○
	鉄軌道維持活性化事業	JR 高山本線、上滝線活性化事業など	事業の継続実施	○
	市内電車環状線停泊場バリアフリー化支援事業	県庁前停泊場バリアフリー化調査検討、事業進捗率 1.6%	事業進捗率 28.6%	
	富山港線複線化・新停泊場設置事業		事業進捗率 100%	
	コミュニティバスの運行・地域自主運行バスへの支援	コミュニティバス等運行 (5 地区)、地域自主運行バス支援 (2 地区)	事業の継続実施	○
Ⅲ-4-(3)	幹線市道整備事業	整備延長 2.3km (23 年度予定)	整備延長 26.8km	
	街路整備事業	整備延長 0.2km (23 年度予定)	整備延長 1.8km	
	交通支障箇所改善事業	4 箇所 (23 年度予定)	改善箇所 31 箇所	
まちづくりの目標Ⅳ 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち				
Ⅳ-1-(1)	観光実践プランの策定		プランの見直し	
Ⅳ-1-(2)	外国人観光客誘致促進事業	外国語表示案内板の設置	外国語表示案内板の設置、外国語観光パンフレットの作成	
	立山山麓活性化事業	トレッキングコース等の整備	遊歩道の整備、アドベンチャー施設の拡充など	○
Ⅳ-1-(3)	商品力向上支援事業	富山ブランド講習会の開催	富山の物産の商品力向上を図るセミナーの開催	
	富山の物産魅力発信事業	富山ブランド市の開催	事業の継続実施	
	くすり関連施設整備事業	展示資料調査	基本設計・実施設計等、「くすり関連施設」建設工事	○
Ⅳ-1-(5)	観光サポーター研修事業	観光サポーター研修事業の実施	事業の継続実施、ガイドマニュアル作成	
Ⅳ-2-(1)	文化遺産等保存活用推進事業	岩瀬地区文化財案内板の設置、岩瀬地区歴史資料・建造物調査	廻船問屋建造物活用整備・運営、重要文化財建造物保存修理	
	史跡王塚・千坊山遺跡群保存事業	千坊山遺跡 (一部)、六治古塚墳墓 (一部) の公有化	史跡の公有化、史跡への誘導看板設置など	
	歴史的まち並み修景等整備事業 (再掲Ⅲ-1-(3))	伝統的家屋及び一般建築物などの修景、空家活性化事業	事業の継続実施	
Ⅳ-2-(2)	ガラスの街づくり事業	新ガラス工場の整備、ガラス美術館の整備、ストリートエリア運営	新ガラス工場の整備・運営、ガラス美術館の整備・運営、ストリートエリア運営	○
	富山デザインフェア開催事業	富山デザインフェアの開催	事業の継続実施	
Ⅳ-2-(3)	市民文化振興事業	(財) 富山市民文化事業団へ委託	事業の継続実施	
	美術展の開催	富山市美術展、神通峡美術展の開催	統合を含めた美術展の開催	
Ⅳ-3-(3)	姉妹・友好都市提携記念事業	秦皇島市友好訪問団の受入 (23 年度)	事業の継続実施	
	中学生国際親善交流事業	姉妹・友好都市などとの中学生の相互交流	事業の継続実施	
Ⅳ-4-(1)	とやま経営実践塾		セミナーの開催	
	担い手総合支援事業	農用地利用集積事業、農業法人育成事業	事業の継続実施	○
	楽農学園事業	とやま楽農学園での栽培技術研修など	事業の継続実施	
Ⅳ-4-(2)	商業振興活性化プラン策定事業	プラン策定 (各種調査)	プラン策定	
	工業振興ビジョンの改訂	第一次改訂	第二次改訂	
	富山とれたてネットワーク事業	地場もん屋総本店の設置・運営、地場もん屋地城店の P R、地産地消広報 P R	地場もん屋総本店の運営、地産地消広報 P R、富山とれたてネットワーク推進	○
	農商工連携推進事業	農商工連携ニーズ調査	六次産業化計画策定支援、販路拡大支援	○
	集落営農促進対策事業	集落営農組織の育成・強化に係る農業用機械等の導入支援 20 箇所、条件不利地域における小規模集落営農の組織化及び農業用機械施設の導入支援 1 箇所	集落営農組織の育成・強化に係る農業用機械等の導入支援 15 箇所、生産調整面積の大幅拡大に対応するために必要な農業用機械の導入支援 20 箇所、市単独事業による支援 15 箇所	
	漁業基盤整備事業	漁港施設の長寿命化や更新コストの平準化・縮減を図るための保全計画作成	四方漁港、水橋漁港の漁港施設保全・更新工事	
	農業環境対策事業 (再掲Ⅱ-2-(3))	整備延長 71.3km	2.5km (整備延長 73.8km)	
	森林整備事業 (再掲Ⅱ-4-(1))	森林整備面積 207ha / 年間	森林整備面積 250ha / 年間	
	地域材活用促進事業 (再掲Ⅱ-4-(1))	地域材使用住宅への補助の実施 71 件、市内産材活用 P R 活動補助 6 件、代替エネルギー用材搬出促進補助	市内産材活用 P R 活動補助 6 件 / 年、代替エネルギー用材搬出促進補助	
	企業団地造成事業	呉羽南部企業団地等の造成	新たな企業団地の造成	○
まちづくりの目標Ⅴ 新しい富山を創る協働のまち				
Ⅴ-1-(2)	公募提案型協働事業	公募提案による、20 の協働事業を実施	市民活動団体等の特性を生かした事業を公募し、毎年度 4 団体程度採択し実施	
	公園管理サポート事業 (再掲Ⅲ-2-(2))	公園サポート活動実施公園 5 公園	公園サポート活動実施公園 3 公園 (累計 8 公園)	
	拠点整備推進事業 (再掲Ⅲ-3-(3))		アドバイザーの派遣、まちづくり計画策定費補助	
	コミュニティバスの運行・地域自主運行バスへの支援 (再掲Ⅲ-4-(2))	コミュニティバス等運行 (5 地区)、地域自主運行バス支援 (2 地区)	事業の継続実施	○
	(仮称) 3 R 活動団体支援事業 (再掲Ⅱ-3-(3))		P R の実施、補助の実施	
Ⅴ-1-(3)	男女共同参画プランの推進	富山市男女共同参画プラン後期実施計画の策定	富山市男女共同参画プランの推進	
Ⅴ-2-(3)	タウンミーティング開催事業	地域別、テーマ別タウンミーティングの開催	事業の継続実施	
	市史編纂事業	データ収集	第一次編纂事業 (24～26 年度)、第二次編纂事業 (27 年度～)	

目標とする指標一覧

施策の体系	指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値（年度等）	28年度目標数値
まちづくりの目標Ⅰ 人が輝き安心して暮らせるまち					
I-1-(1)	延長保育の実施率	延長保育を実施する保育所の割合	富山市次世代育成支援行動計画後期計画（平成22～26年度）に基づき、多様化する保育ニーズに対応するため、増加を目指す。	76.5% 65箇所（23年度）	78.8% 67箇所
	一時保育の実施率	市内全保育所及び保育所・幼稚園以外の子育て関連施設における一時保育の実施の割合	富山市次世代育成支援行動計画後期計画（平成22～26年度）に基づき、多様化する保育ニーズに対応するため、増加を目指す。	54.1% 46箇所（23年度）	57.6% 49箇所
	病児・病後児保育（体調不良児対応型）の実施率	病児・病後児保育を実施する保育所の割合	多様化する保育ニーズに対応するため、実施箇所の3箇所増加を目指す。	24.7% 21箇所（23年度）	28.2% 24箇所
	放課後児童健全育成事業の年間利用人数	富山市放課後児童健全育成事業費補助金利用施設を利用する年間延べ人数	子どもたちの健全育成を図るため、毎年1箇所5,000人程度の増加を目指す。	97,660人（22年度）	125,000人
	地域児童健全育成事業の年間利用人数	地域児童健全育成事業を利用する年間延べ人数	子どもたちの健全育成を図るため、2箇所12,000人程度（1箇所6,000人）の増加を目指す。	443,000人（22年度）	455,000人
	ファミリー・サポート・センター会員の活動回数	ファミリー・サポート・センターの相互援助活動の利用回数	子育てと仕事の両立を支援するため、会員数の増加を図りながら、各年300回程度の活動回数の増加を目指す。	6,230回（22年度）	8,000回
I-1-(2)	全国平均を上回る体力テストの項目割合	小学校5年生～中学校3年生を対象とした新体力テストで市内の児童生徒の平均値が全国平均値を上回る項目の割合	子どもの体力向上事業を全市域に拡大し、年2%程度の増加を目指す。	38.4%（22年度） 全国平均を上回っている項目数（33項目）／全項目数（86項目）	50%
	不登校児童・生徒の割合	児童生徒総数に占める不登校（30日以上欠席）児童生徒数の割合	子どもたちが登校しやすい環境づくりを進め、過去15年間の富山県全体の状況で最も低い数値を目標に、不登校児童生徒の減少を目指す。	小学生 0.40% 中学生 2.42%（22年度）	小学生 0.25% 中学生 2.10%
	健康な児童・生徒の割合	すこやか検診における要医療・経過観察の判定を受けていない児童生徒の割合	子どもたちの健康管理を推進し、富山市健康プラン21（児童・生徒の肥満者7%以下）を参考に、3%の向上を目指す。	90%（22年度）	93%
	学校給食における地場産野菜の品目数	学校給食における地場産野菜の使用品目数（44品目中）	食育推進の観点から、ある程度の量が確保できる地場産野菜の導入を目指す。	25品目（22年度）	32品目
I-1-(4)	公民館利用人数	利用状況報告書に基づく公民館利用者数	多様な生涯学習などの機会を提供し、年2,000人の利用者増を目指す。	809,642人（22年度）	820,000人
	博物館等の観覧者数	市立博物館等17施設の入館者数	展示内容等の充実を図り、毎年2%程度の増加を目指す。	649,511人（22年度）	710,000人
	市民一人当たり市立図書館の年間図書貸出冊数	市立図書館全体の図書雑誌貸出冊数／富山市人口	図書館本館開館、蔵書の効率的運用を図ることにより、1.4冊増を目指す。	4.6冊（22年度）	6.0冊
I-2-(1)	県内高校出身の大学生のUターン就職率	県内高校出身の県外大学生のUターン就職率	県等と連携を図りながら、60%以上を目指す。	57.4%（22年度）	60%
	再就職資格取得支援事業を活用した就職率	資格取得助成金申請者数に占める再就職助成金申請者数の割合	再就職の支援を図り、就職率60%以上を目指す。	50%（22年度）	60%
	市内事業所での障害者雇用率達成割合	法定障害者雇用率1.8%を達成した一般の民間企業の割合	障害者雇用の推進を図り、60%以上の確保・維持を目指す。	51.7%（23年度）	60%
I-2-(2)	ファミリー・サポート・センター会員の活動回数（再掲 I-1-(1)）	ファミリー・サポート・センターの相互援助活動の利用回数	子育てと仕事の両立を支援するため、会員数の増加を図りながら、各年300回程度の活動回数の増加を目指す。	6,230回（22年度）	8,000回
I-3-(1)	成人のスポーツ実施率	成人における週1回以上のスポーツ実施者数の割合	ライフステージごとの具体的な事業を展開し、成人における週1回以上のスポーツ実施率が50%以上になることを目指す。	28.5%（21年度）	50%
	スポーツ・レクリエーション施設年間利用人数	スポーツ・レクリエーション施設の年間利用延べ人数	屋内競技場の開館や休館日の廃止等によるスポーツ・学校体育施設の充実やこれまでの実績をもとに11万人程度の増加を目指す。	279万人（22年度）	290万人
I-3-(2)	健康であると感じる市民の割合	健康づくりに関する市民意識調査において、健康である・まあまあ健康であると回答した市民（満20歳～79歳）の割合	健康づくり活動を推進し、これまでの実績をもとに5%程度の増加を目指す。	81.4%（23年度）	86%
	意識的にからだを動かす市民の割合	健康づくりに関する市民意識調査において、いつもしている・時々していると回答した市民（満20歳～79歳）の割合	健康づくり活動を推進し、これまでの実績をもとに5%程度の増加を目指す。	64.0%（23年度）	70%
	壮年期者（40～64歳）の悪性新生物による死亡率	壮年期40歳～64歳の悪性新生物による死亡率（人口10万対）	各種がん検診の充実を図り、これまでの人口動態統計をもとに、10%減を目指す。	148.9（22年）	135.0
	むし歯のない幼児の割合	富山市の3歳児歯科健診でむし歯（未処置歯＋処置歯）がない幼児の割合	むし歯予防の啓発や口腔衛生指導を実施し、これまでの実績をもとに10%程度の増加を目指す。	73.7%（22年度）	80%
	精神障害者等を支援するネットワーク数	精神障害者の地域定着を支援するための関係機関やボランティア等で支えるネットワーク数	精神保健福祉相談体制の強化やボランティアの養成により、地域で見守るネットワーク数の増加を目指す。	30（22年度）	160
	自殺死亡者数の割合	自殺死亡率（人口10万対）	地域や職場のメンタルヘルスを推進し、自殺者の減少を目指す。	人口10万対22.2（92人）（22年度）	人口10万対19.1（80人）
I-3-(3)	介護予防事業の改善効果のあった人数	介護予防事業の実施により、要支援・要介護状態になることを防止、あるいは重度化を防止できる人数	介護予防事業を実施しない場合の要介護予測人数14,700人から、同事業を実施した場合の要介護予測人数13,900人を差し引いた人数を目標として設定する。（要介護予測人数は要介護度2～5）	708人（22年度）	800人（26年度）
I-4-(1)	地域優良賃貸住宅供給戸数	都心地区及び公共交通沿線居住推進地区における地域優良賃貸住宅の供給戸数	高齢化の進展に伴い、高齢者が安心して暮らせる住宅の需要が見込まれることから、供給戸数の増加（年間50戸程度）を目指す。	120戸（22年度）	370戸
	障害者グループホーム・ケアホームの定員数	市内における障害者グループホーム・ケアホームの定員数	障害福祉計画に基づき、利用見込量に応じ、障害者グループホーム・ケアホームの定員数を増やすことを目指す。	定員219人（22年度）	定員370人
	介護保険の在宅サービスを利用する高齢者の割合	要介護認定者のうち介護保険の居宅サービスを利用する人の割合	在宅サービス等の充実を図り、高齢者が介護が必要になっても、出来る限り住み慣れた地域で、在宅を基本とした生活が継続できることを目指す。	59.5%（22年度）	65%
I-4-(2)	健康な高齢者の割合	65歳以上の高齢者で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない人の割合	高齢化の進展に伴い、要介護認定者率も増加すると見込まれるが、その増加率を最小限に抑え、健康な高齢者の割合の維持を目指す。	82.6%（22年度）	80%以上（26年度）
I-5-(2)	公民館利用人数（再掲 I-1-(4)）	利用状況報告書に基づく公民館利用者数	多様な生涯学習などの機会を提供し、年2,000人の利用者増を目指す。	809,642人（22年度）	820,000人
I-5-(3)	朝食をとる子どもの割合	朝食をとる児童・生徒の割合	家庭での健全な食習慣の確立を図り、富山県の目標数値を参考に小学生100%、中学生98%を目指す。	小学生 98.5% 中学生 94.5%（22年度）	小学生 100% 中学生 98%

施策の体系	指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値（年度等）	28年度目標数値
まちづくりの目標Ⅱ すべてにやさしい安全なまち					
Ⅱ-1-(1)	河川水路整備延長	浸水被害の解消を図るため、整備した河川及び水路延長	富山市浸水対策基本計画に基づき、平成24～28年度の計画箇所を整備することにより、延長の増加を目指す。	10,732 m (23年度)	22,300 m
	大雨に対して安全である地区の面積の割合	市街地で公共下水道（雨水）整備により浸水対策を実施する区域のうち、概ね5年に1度の大雨に対して安全であるよう、既に整備が完了している区域の面積の割合	富山市上下水道事業中長期ビジョンに基づき、整備及び促進を図り年平均0.8～1.4%の増加を目指す。	49.4% (22年度)	55%
	住宅の耐震化率	住宅総数（非木造・共同住宅等含む。）のうち、新耐震基準で建築されたものと耐震化工事を行ったものを合わせた数の割合	富山市耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化率85%を目指す。	76% (23年度)	85%
	急傾斜地崩壊防止対策済家屋率	急傾斜地崩壊危険箇所における家屋のうち対策済の割合	急傾斜地崩壊危険箇所を整備することにより、土砂災害から危険を回避できる家屋の割合の増加を目指す。	34.7% (23年度)	38%
	重要な橋梁の耐震化率	重要な橋梁に占める耐震対策済の橋梁の割合	富山市地域防災計画における緊急通行確保路線に存する橋梁及び直轄河川に架かる橋梁、長大橋、跨線橋、跨道橋の耐震化率の増加を目指す。	74.3% (22年度)	86%
	防災行政無線の整備率	防災行政無線（移動系無線及びデジタル式同報系無線）の整備の割合	移動系無線については、中継局が整備される見込みの地域について、整備完了を目標とする。同報系無線については、富山地域での整備完了を目標とする。	50.9% (移動系無線) 26.5% (同報系無線) (23年度)	80% (移動系無線) 32% (同報系無線)
	防災拠点機能満足度	富山市民意識調査において、「災害に強いまちづくり」に対して普通以上と回答した市民の割合	地域防災計画の見直しや、備蓄物資等の整備を進めることにより、約10%の増加を目指す。	64% (22年度)	75%
	水道管路の耐震化率	管路総延長に占める耐震管延長の割合	富山市上下水道事業中長期ビジョンに基づき、災害に強い水道管路網を整備するため、耐震管延長の増加を目指す。	34.8% (22年度)	43%
Ⅱ-1-(2)	自主防災組織の組織率	全世帯に占める自主防災組織加入世帯の割合	実績等に基づき、より一層防災意識の啓発に努め、概ね7割の組織率を目指す。	33.8% (22年度)	70%
	冬期走行しやすさ割合	市道延長に占める降雪及び除雪対処済の市道の割合	年間5km増加することにより、割合の維持を目指す。	81.6% (22年度)	現状維持
	救急救命士の養成率	救急車16台の運用を充足する救急救命士数80人に対する救急救命士の養成者数の割合	退職者等を勘案しながら毎年度2人を養成することにより、救急救命士80人の確保・維持を目指す。	93% 74人 (22年度)	100% 80人
	消防庁舎の耐震化率	全消防庁舎に占める耐震対策済の消防庁舎の割合	消防庁舎17箇所のうち、旧耐震基準で建設された消防庁舎6箇所について、改築・移転建設などにより耐震化を目指す。	64% 11箇所 (22年度)	82% 14箇所
Ⅱ-1-(3)	救急隊の現場到着時間	119番通報から救急隊が現場に到着するまでに要した総出勤件数の平均時間	救急件数の増加により現場到着時間が延びつつあることから、救急・救命講習などで救急車の適正利用を啓発し、現状の現場到着時間の維持を目指す。	6分30秒（合併後、6年間平均）	6分30秒
	年間出火率	人口1万人当たりの年間出火件数	火災予防広報活動等の強化を図り、出火率の減少を目指す。	2.1件／万人（合併後、6年間平均）	2.0件／万人
Ⅱ-1-(4)	市内の交通事故件数	年間の交通事故件数	交通安全意識の啓発に努め、毎年前年比2%の減少を目指す。	2,649件 (22年)	2,340件
Ⅱ-1-(5)	市内の犯罪認知件数	年間の犯罪認知件数	犯罪認知件数の減少に向け、さらなる防犯意識の啓発などにより、平成22年犯罪認知件数（3,755件）の約17%減を目指す。	3,755件 (22年)	3,130件
	自主防災組織の組織率（再掲Ⅱ-1-(1)）	全世帯に占める自主防災組織加入世帯の割合	実績等に基づき、より一層防災意識の啓発に努め、概ね7割の組織率を目指す。	33.8% (22年度)	70%
Ⅱ-2-(1)	環境基準の達成率	調査した測定数のうち、環境基準を達成した割合（大気汚染等の区分ごとの環境基準達成率／全調査数×100）	事業所等の公害防止対策に努め、環境基準の達成率の向上を目指す。	87% (22年度)	93%
Ⅱ-2-(2)	消費生活相談解決率	相談総数のうち、助言等により解決した割合	相談内容が複雑化する中、現状の相談解決率の維持を目指す。	99% (22年度)	現状維持
	青果部・水産物部取扱金額	地方卸売市場で取り扱う青果物・水産物の年間金額	取扱高が減少傾向にある中、施設整備を図ることなどにより、現状維持を目指す。	24,797百万円 (22年度)	25,000百万円
Ⅱ-2-(3)	下水道を利用している人口の割合	下水道で汚水进行处理している区域において、実際に下水道を利用している人口の割合	富山市上下水道事業中長期ビジョンに基づき整備及び促進を図り、年平均0.3～0.5%の増加を目指す。	92.3% (22年度)	94%
	ふるさと富山美化大作戦参加者数	市町村合併記念事業として実施し、継続開催しているふるさと富山美化大作戦への参加者数	清潔で健全な生活環境を確保するため、毎年前年度比0.5%の参加者数の増加を目指す。	68,000人 (22年度)	70,000人
Ⅱ-3-(1)	市民1人1日当たりの一般廃棄物排出量	ごみ総排出量から求めた市民1人1日当たりの一般廃棄物排出量	市民意識の啓発に努め、毎年前年度比で0.5%の減量を目指す。（最終年度は22年度比で3%程度の減少を目指す。）	1,073 g (22年度)	1,040g
	一般廃棄物のリサイクル率	ごみ排出量に占める資源物（空き缶、空き瓶、古紙など）の割合	可燃ごみ・不燃ごみに含まれる資源物の分別を徹底し、年0.4%程度の向上を目指す。	24.6% (22年度)	27%
	産業廃棄物減量化・循環利用率	産業廃棄物発生量に占める中間処理等により減量化された量	廃棄物の循環的利用、適正処理を推進し、富山県の「とやま廃棄物プラン」で定める数値を目指す。	96.1% (21年度)	96.2%
Ⅱ-3-(2)	温室効果ガス排出量の削減割合	平成17年度を基準とした温室効果ガス排出量の削減割合	富山市環境モデル都市行動計画に基づき、地球温暖化対策を進め、温室効果ガス排出量を2030年に対2005年比30%減を目指す。	— (17年度)	13.3% 削減
	住宅用太陽光発電システム設置補助件数	住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助の年間件数	住宅用太陽光発電システムの普及を図るため、支援を継続し、年平均5%以上の増加を目指す。	356件 (22年度)	500件
	省エネ設備設置補助件数	省エネ設備の設置に対する補助の年間件数	省エネ設備等の普及を図るため、平成22年度実績の2倍の増加を目指す。	25件 (22年度)	50件
Ⅱ-3-(3)	エコタウン交流推進センター利用者数	エコタウン交流推進センター見学者、貸館による利用者、エコタウン学園参加者、企業見学ツアー参加者の合計	環境学習の機会の充実を図り、約1割の増加を目指す。	8,921人 (22年度)	10,000人
Ⅱ-4-(1)	森林整備面積	人工林及び里山林の整備面積（市民等による里山整備面積を除く）	人工林の間伐等を図ることにより、約1割増を目指す。	220ha (22年度)	250ha
	森林ボランティア団体数	とやまの森づくりサポートセンターへの登録数	市民・企業によるボランティア団体の増加を目指す。	47団体 (22年度)	70団体
	地域材使用量（再掲Ⅳ-4-(2)）	市内産材が住宅建材やチップ・ペレット等に活用された量	地域材の活用促進に努め、毎年500㎡の使用量の増加を目指す。	8,500㎡ (22年度)	11,000㎡
まちづくりの目標Ⅲ 都市と自然が調和した潤いが実感できるまち					
Ⅲ-1-(1)	富山駅周辺地区の歩行者数	富山市・富山商工会議所により実施される歩行者通行量調査における歩行者数	新幹線の開業や駅前広場などの整備により、4,000人程度の増加を目指す。	平日35,715人 日曜27,791人 (22年度)	平日40,000人 日曜32,000人
	中心商業地区の歩行者数	中心商店街（西町、総曲輪、中央通り）の歩行者数	富山市中心市街地活性化基本計画に掲げる目標数値の達成を目指す。	日曜27,407人 (23年)	日曜 32,000人
	公共交通利用者数（再掲Ⅲ-4-(1)）	1日当たりの富山市内の鉄軌道及び路線バスの利用者数	公共交通利用者の減少傾向の中、利便性の向上などを図り、現状の利用者数の向上を目指す。	62,432人 (21年度)	64,000人
Ⅲ-1-(2)	温泉施設利用客数	市内の主な温泉7施設の年間利用者数（古洞の湯、ウィンディ、ゆつゆ館、楽今日館、牛岳温泉健康センター、大長谷温泉、白樺ハイツ）	滞在型観光を進め、現状より増加を目指す。	863,785人 (22年)	865,000人
	スキー場入込客数（再掲Ⅳ-1-(2)）	市内スキー場の入込客数（立山山麓、牛岳温泉、あわすの）	スキー人口が減少する中で、各スキー場の魅力を高め、現状維持を目指す。	259,019人 (22年)	260,000人
	博物館等の観覧者数（再掲Ⅰ-1-(4)）	市立博物館等17施設の入館者数	展示内容等の充実を図り、毎年2%程度の増加を目指す。	649,511人 (22年度)	710,000人

施策の体系	指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値（年度等）	28年度目標数値
Ⅲ-1-(3)	伝統的家屋、一般建築物等の修景事業の件数	修景等事業補助制度を活用した伝統的家屋、一般建築物等、土蔵、石垣沿線家屋に対する修景工事の件数	事業全体を通して、補助対象区域内の家屋等のうち10%程度の修景工事の実施を目指す。	104件（22年度）	26件（累計130件）
	景観まちづくり推進区域の指定件数	富山市景観まちづくり条例に基づく、景観まちづくり推進区域指定件数	住民等の意識啓発、合意形成を図りながら、新たに3地区の指定を目指す。	1件（22年度）	3件（累計4件）
Ⅲ-1-(4)	市営住宅のバリアフリー化の割合	市営住宅全戸数に占めるバリアフリー化戸数の割合	公営住宅等整備計画に基づき、新規に整備する全ての住宅をバリアフリー化することにより、割合の増加を目指す。	34%（22年度）	40%
Ⅲ-3-(1)	総人口に占める公共交通が便利な地域に居住する人口の割合	住民基本台帳における総人口に占める公共交通が便利な地域 [※] の人口の割合 *公共交通沿線居住推進地区（鉄軌道6路線の駅から500m及び運行頻度の高いバス路線13系統のバス停から300m以内の地域で、かつ用途地域内の区域）のうち、「JR 高山本線」「地鉄不二越・上海線」の沿線を除いた区域	都市マスタープランに基づき、公共交通が便利な地域に住む市民の割合の増加を目指す。	32%（17年）	35%
	中心市街地の居住人口の社会増加（人）（再掲Ⅲ-3-(2)）	都心地区（約436ha）の人口増減数から自然増減数（死亡数－出生数）を除いた数	中心市街地活性化基本計画に基づき、都心地区人口の社会増加を目指す。	332人増（18～22年度）	390人増（24～28年度）
Ⅲ-3-(2)	中心市街地の居住人口の社会増加（人）	都心地区（約436ha）の人口増減数から自然増減数（死亡数－出生数）を除いた数	中心市街地活性化基本計画に基づき、都心地区人口の社会増加を目指す。	332人増（18～22年度）	390人増（24～28年度）
Ⅲ-3-(3)	地域の生活拠点地区の整備に対し満足・ほぼ満足と感じる市民の割合	市民意識調査において、「地域の生活拠点地区の整備」に対して満足・ほぼ満足と回答した市民の割合	市民のまちづくり活動を支援し、住民主体のまちづくりを促進させることで、50%程度の増加を目指す。	6.6%（22年度）	10%
Ⅲ-4-(1)	公共交通利用者数	1日当たりの富山市内の鉄軌道及び路線バスの利用者数	公共交通利用者の減少傾向の中、利便性の向上などを図り、現状の利用者数の向上を目指す。	62,432人（21年度）	64,000人
Ⅲ-4-(2)	公共交通利用者数（再掲Ⅲ-4-(1)）	1日当たりの富山市内の鉄軌道及び路線バスの利用者数	公共交通利用者の減少傾向の中、利便性の向上などを図り、現状の利用者数の向上を目指す。	62,432人（21年度）	64,000人
まちづくりの目標Ⅳ 個性と独創性に満ちた活力あふれるまち					
Ⅳ-1-(1)	観光庁観光客入込統計調査による宿泊者数	ホテル・旅館の延べ宿泊者数	広域・滞在型観光を推進し、ホテル・旅館の宿泊者について、10%の増加を目指す。	1,278,212人（22年）	1,406,000人
	外国人観光客入込数	富山空港国際線の外国人降客数	外国人観光客の誘致を進め、約50%の増加を目指す。	27,380人（22年）	41,000人
Ⅳ-1-(2)	スキー場入込客数	市内スキー場の入込客数（立山山麓、牛岳温泉、あわすの）	スキー人口が減少する中で、各スキー場の魅力を高め、現状維持を目指す。	259,019人（22年度）	260,000人
	グリーンシーズン入込客数	立山山麓スキー場のグリーンシーズン入込客数	グリーンシーズン活用策の推進に努め、現状より増加を目指す。	23,802人（22年度）	30,000人
Ⅳ-1-(3)	温泉施設利用客数（再掲Ⅲ-1-(2)）	市内の主な温泉7施設の年間利用者数（古洞の湯、ウィンディ、ゆうゆう館、楽今日館、牛岳温泉健康センター、大長谷温泉、白樺ハイソ）	滞在型観光を進め、現状より増加を目指す。	863,785人（22年）	865,000人
	「富山やくぜん」認定料理の品目数	「富山やくぜん」の認定基準を満たした料理の品目数	富山市内の飲食業関係団体への周知に努め、事業開始年度予定数の倍増を目指す。	25品目（23年度1回目認定数）	50品目
Ⅳ-1-(4)	コンベンション開催数及び参加者数	県外参加者が本市で延べ100泊以上するコンベンションの開催数及び参加者数	コンベンションの誘致を進め、開催数を毎年2件増加することにより、参加者数の増加を目指す。	開催数72件 参加者数50,841人（22年度）	開催数82件 参加者数62,000人
Ⅳ-2-(2)	ガラス文化に触れた人々の総数	現・新ガラス工房とガラス美術館の入館者数	新ガラス工房やガラス美術館の整備により、約2倍の増加を目指す。	63,132人（22年度）	125,000人
Ⅳ-2-(3)	主催公演の入場者率	主催公演における入場可能座席数に占める入場者の割合	多様で質の高い芸術文化公演を提供し、6%の増加を目指す。	64%（22年度）	70%
Ⅳ-4-(1)	認定農業者等が占める経営面積比率	市内の耕地面積のうち、認定農業者等の経営面積の割合	富山市農林漁業振興計画の目標に基づき、年5%以上の増加を目指す。	29.3%（22年度）	70%
	農業サポーター登録者数	営農サポートセンターに登録した農業サポーターの人数	とやま楽農学園の受講者に呼びかけ、約7割の登録者の確保を目指す。	249人（22年度）	460人
Ⅳ-4-(2)	事業所の新規開業率（再掲Ⅳ-4-(3)）	経済センサスにおける新規開業率（全産業）	新規開設の事業所数増により新規開業率の増加を目指す。	2.5%（21年度）	5%
	製造品出荷額等	工業統計における従業員4人以上の事業所の年間製造品出荷額等	産業の振興を図り、年平均2.2%程度の増加を目指す。	9,956億円（22年）	11,300億円
Ⅳ-4-(3)	転作面積にかかる出荷大豆・麦、出荷野菜等の栽培面積率	富山市の転作面積（水稲を作付けしない地目が田の面積）のうち、出荷大豆・麦・野菜の栽培面積の割合	調整水田などから大豆・麦・野菜等の栽培に毎年53haずつ移行を目指す。	26.9%（22年度）	30%
	地域材使用量	市内産材が住宅建材やチップ・パレット等に活用された量	地域材の活用促進に努め、毎年500㎡の使用量の増加を目指す。	8,500㎡（22年度）	11,000㎡
Ⅳ-4-(4)	年間漁獲量	港勢調査による水橋、岩瀬、四方地区の水揚量	放流事業などの推進により、毎年約1%の増加を目指す。	2,518t（16～22年度の平均）	2,640t
	認定農業者等が占める経営面積比率（再掲Ⅳ-4-(1)）	市内の耕地面積のうち、認定農業者等の経営面積の割合	富山市農林漁業振興計画の目標に基づき、年5%以上の増加を目指す。	29.3%（22年度）	70%
Ⅳ-4-(5)	森林整備面積（再掲Ⅱ-4-(1)）	人工林及び里山林の整備面積（市民等による里山整備面積を除く）	人工林の間伐等を図ることにより、約1割増を目指す。	220ha（22年度）	250ha
	事業所の新規開業率	経済センサスにおける新規開業率（全産業）	新規開設の事業所数増により新規開業率の増加を目指す。	2.5%（21年）	5%
Ⅳ-4-(6)	新規事業所開設による雇用者数	経済センサスにおける新設事業所の年平均就業者数（全産業）	新規事業所の開設を推進し、約20%の増加を目指す。	4,485人（18～21年の平均）	5,400人
	創業支援施設卒業企業数	本市の3箇所の創業者支援施設における年平均卒業企業数（富山市ハイテク・ミニ企業団地、とやまインキュベータ・オフィス、富山市新産業支援センター）	入居企業への支援を強化することにより、独立開業数の増加を目指す。	4.6社（20～22年度平均）	5社
Ⅳ-4-(7)	企業団地への入居率	市で造成した企業団地の入居率	既存の企業団地の入居率100%を目指す。	呉羽南部企業団地87.3%（23年度）	呉羽南部企業団地100%
まちづくりの目標Ⅴ 新しい富山を創る協働のまち					
Ⅴ-1-(2)	NPO法人の数	富山市を活動拠点とする富山県認証のNPO法人の数	これまでの認証数の推移に基づいて、年10件の増加を目指す。	132法人（22年度）	190法人
	まちづくりのルールを策定した地区数	まちづくりのルール（地区計画、建築協定）を策定した地区数	地区のルール策定を推進し、これまでの実績をもとに約10%の増加を目指す。	49地区（22年度）	54地区
Ⅴ-1-(3)	審議会等における女性委員登用率	本市において法律または条例に基づき設置される付属機関及び規則・要綱等に基づき設置される協議会・懇話会・委員会の構成員のうち女性の占める割合	富山市男女共同参画プランに基づき、市政に参画する女性の増加を目指す。	24.6%（23年度）	30%
Ⅴ-2-(2)	人口一万人あたりの市職員数	人口一万人あたりの特別職、再任用職員を除く正規職員数	「富山市定員適正化計画」（平成23年度より5年間で職員数約225人減）に基づく指標。	101.2人（23年度）	96.8人
Ⅴ-2-(3)	富山市史利用件数	年間の市史資料閲覧者数と市史検索システムアクセス数の合計	平成26年度発刊の富山市史を積極的にPRし、市史資料の閲覧や検索システムの利用者増加を目指す。	200人18,000件（27年度）	300人22,000件
Ⅴ-2-(4)	市ホームページアクセス数	市ホームページの年間延べアクセス数	電子入札システム・スポーツ施設予約システム・FAQシステム・市へのご意見ご要望受付回答システム等、市民にとって利便性の高いシステムをホームページコンテンツとして充実させることや、ホームページの使いやすさや情報提供の迅速性を向上させること等により、毎年2万件程度の増加を目指す。	590万回（22年度）	600万回

市民に期待する役割一覧

施策の体系	市民に期待する役割	施策の体系	市民に期待する役割						
まちづくりの目標Ⅰ 人が輝き安心して暮らせるまち									
I-1-(1)	子どもを地域全体で育てる意識を持つ。 保育所等を拠点とした親子サークルや、子育て家庭と地域住民との交流会等に参加する。 ファミリー・サポート・センターに依頼会員（子育てのお手伝いをして欲しい方）と協力会員（子育てのお手伝いをしたい方）として会員登録し、地域で子育てする。 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、関係機関に通告する。	I-3-(1)	スポーツ施設を利用することで健康増進を図る。 学校施設を活用した地域住民による、身近なスポーツ活動への参加を促進し、地域との関わりを深める。						
	I-3-(2)		健康づくりは自らが主役であることを認識し、健康情報の収集に努め、健康づくり活動を実践する。 定期的に各種健康診断を受け、疾患の早期発見に努めるとともに、地域で取り組む健康づくりを推進する。 精神障害者等が安心して在宅生活が送られるよう、地域生活を温かく見守る身近な支援者によるネットワークを構築する。 精神疾患を理解し、心の問題を気軽に話し合える地域づくりをする。						
		I-1-(2)	PTA 活動に積極的に参画する。 地域と連携した教育活動に協力する。 生活習慣病の予防のため、食生活を含めた日頃の健全な生活習慣の確立について、家族ぐるみで取り組む。	I-3-(3)	いつでも元気に生活できるよう、介護予防活動に積極的に取り組む。 地域の高齢者を気遣い、思いやりが感じられる地域社会の実現を目指す。				
I-1-(3)	公開講座を受講し、知識・技術を習得し、教養を深め感性を磨く。 大学等の演奏会を鑑賞し、芸術文化に親しむ。		I-4-(1)		すべての人が互いを思いやることで、ノーマライゼーションの考えが実現される社会を目指す。 高齢者などさまざまな人たちの生活を相互に理解するとともに、地域でささえあう良好な生活環境を創出する。				
	I-1-(4)	地域の特性を生かした学習活動への参画や世代間交流等を通じて生涯学習に努めるとともに、地域の中で縁を育み、地域力を高める。 博物館等の運営や事業に参加する。 図書館とボランティア団体が連携を図りながら、市民の読書への支援を協働で行う。 郷土の歴史や伝統などを学び、郷土に対する愛着心と誇りを持つ。		I-4-(2)	シルバー人材センターを積極的に活用する。 高齢者や障害者が、より安心して安全に生活できる住みよい地域づくりを心がける。				
I-2-(1)		事業者は若年者、離職者、女性及び障害者など、広く雇用の拡大に努める。 若年層の未就職者は、就労の大切さを認識し、職業訓練や就職活動などに取り組む。 離職者は、職業訓練等を通じ、早期の再就職に努める。	I-5-(1)		かかりつけ医や保健福祉センターの活用などによって、自主的、継続的な健康管理に努める。				
	I-2-(2)	事業者は、職場の就業環境の向上に努める。		I-5-(2)	防犯、防災、福祉、教育のさまざまな地域活動やボランティア活動に積極的に参加する。 コミュニティの役割を身近に感じ、地域の絆や連帯意識を育む。				
I-3-(1)		健康の保持増進、体力の維持向上のため、スポーツ活動を習慣として行うとともに、スポーツ施設の利用やスポーツ事業への参加など、スポーツ・レクリエーション活動を実践する。 トップレベルの競技大会やプロスポーツを「観る人」、そして指導者やスポーツボランティアといったスポーツを「支える（育てる）人」としてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ。	I-5-(3)		地域の子どもを見守り、子どもにとって安全な環境づくりに努める。 学校や地域と連携しながら、基本的な学習習慣や生活習慣の定着を図るための家庭教育を行う。 「地域の子どもは地域で育てる」という意識を持ち、教育活動や体験活動などに積極的に参画する。 開かれた学校づくりに参画する。				
	まちづくりの目標Ⅱ すべてにやさしい安全なまち								
	II-1-(1)	自主防災組織に参加し、防災訓練や講習会等の活動に協力する。 日頃から海岸の状況に注意し、異常時には情報提供に協力する。 災害の発生に備え、災害時の対応の確認や家具の転倒防止策等を行う。 防災物資や生活物資を備蓄する。 災害時等において、救援・救助活動や復旧支援活動に協力する。 木造住宅の耐震改修の必要性を理解する。 自宅や職場の屋内外の危険箇所や周辺の避難場所を確認する。		II-2-(2)	消費生活講座に積極的に参加することにより消費者としての判断力を高めるとともに、消費者トラブルの情報提供に努める。 地場産の食材の消費拡大に努める。 鮮度、消費期限を確認し、安全・安心な食品の購入に努める。 持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫で保存することや、食肉の生食の危険性を理解すること等、家庭での食中毒予防に努める。				
II-1-(2)		地域の歩道や生活道路の除雪に自主的に取り組む。	II-2-(3)		下水道が整備された場合は、早期に下水道へ接続する。 地域で一斉に行う美化活動に参加するほか、家庭単位でも美化活動を実践する。 水辺空間の環境保持を図るため、農業用水路の維持管理に協力する。 ペット飼育者は、飼育者としての責任を認識し、飼育マナーを遵守する。				
		II-1-(3)			消防訓練や各種講習会に参加し、防火意識を高めるとともに、初期消火や応急手当の技術を習得する。 救急車の適正利用を心掛ける。 消防団活動の重要性を認識し、活動に協力する。 住宅用火災警報器を設置する。 夜間外出時は、明るい服装や反射材の活用を心がける。 シートベルト、チャイルドシートを正しく着用する。	II-3-(1)	廃棄物を適正に処理するとともに、不法投棄や不適正処理を発見した場合は市に通報する。 分別排出を徹底する。 生ごみリサイクル事業及び可燃ごみ固形燃料化事業（古布リサイクル事業）に協力する。 古紙などの資源の集団回収に協力する。 資源物ステーションを活用する。 太陽光発電・太陽熱・地中熱利用システムなどの新エネルギー設備を設置する。 エコウィルやエネファームなどの省エネルギー機器を設置する。		
					II-1-(4)		交通ルールを守る。 自転車のルール遵守やマナーの向上に努める。 日常生活において、積極的な自転車利用に努める。 地域での交通安全活動に参加する。 事業者は、交通安全講習会等を実施し、交通安全を徹底する。	II-3-(2)	バイオマス資源の有効活用のため、ペレットストーブの設置や廃食用油の回収に協力する。 公共交通の利用や低公害車の利用など、交通行動を転換する。 節電や節水など、暮らし方を転換し、省エネルギー型のエコライフに努める。
							II-1-(5)		地域の自主防犯活動に参加する。 地域の子どもの安全確保に努める。 地域の環境美化活動に協力する。 空き家や空き地の所有者は、犯罪防止のため、雑草や雑草を除去するなど適正に管理する。 自主防災組織に参加し、防災訓練や講習会等の活動に協力する。 身近な公園の施設などを点検し不備があった場合は市に連絡する。
	II-2-(1)			空き地の所有者は、生活環境の保全のため、雑草を除去するなど適正に管理する。 食肉の生食の危険性を理解するなど食中毒予防に努める。 水資源の保全のため、節水を心がける。					II-4-(1)
II-2-(2)			豊かな自然環境は、野生生物の生息域でもあることを十分認識したうえで自然にふれる。 ペット飼育者は、飼育者としての責任を認識し、飼育マナーを遵守する。	II-4-(2)					

施策の体系	市民に期待する役割	施策の体系	市民に期待する役割
まちづくりの目標Ⅲ 都市と自然が調和した潤いが実感できるまち			
Ⅲ-1-(1)	まちなかでのイベントに参加し、まちの賑わいに寄与する。	Ⅲ-2-(3)	中山間地域の自然公園などを利用し、交流活動に参加する。
	中心市街地を訪れる際は、公共交通の利用に努める。		中山間地域の農業、自然環境の価値・役割を認識し、棚田や里山林などの保全活動に参加する。
	日常生活において車に依存する生活から公共交通を利用する生活への転換を図る。	Ⅲ-3-(1)	地域や市全体のまちづくりに関心を持ち、地域の活性化に努める。
	富山駅を拠点とする公共交通の利用に努める。		日常生活において、できるだけ公共交通機関を利用するなど、車に過度に依存したライフスタイルの転換に努める。
ガラス美術館や図書館を利用し、文化や芸術に親しむ。	居住地を選択する際は、公共交通沿線などの車に頼らなくても生活できる環境を考慮する。		
Ⅲ-1-(2)	交流拠点となる地域の施設を相互に利用し、地域間の交流を深める。	Ⅲ-3-(2)	利用していない住宅や、空き地を有効活用し地域の活性化に寄与する。
	それぞれの地域にある自然や文化などを尊重し、市民共有の財産として保存・継承活動に参画する。		まちなかで居住することを住まい方の選択肢とする。
	自らの地域について学び、地域の良さを知り、折に触れて紹介する。	Ⅲ-3-(3)	主体的にまちづくりに参加し、地域の特性を生かした住みやすい環境づくりに努める。
地域に暮らす人々の生活そのものが良好な地域の景観づくりに影響を与えることを認識し、主体的に景観づくりに取り組む。	地域生活における生活環境の利便性の維持・向上のため、地元商店などの利用に努める。		
Ⅲ-1-(3)	事業者は、景観に関する法令を遵守し、地域の構成員として、景観の保全に努める。	Ⅲ-4-(1)	環境や健康の観点からも日常生活において、過度に車に頼る状態から公共交通や徒歩などの交通手段を適度に利用する。
Ⅲ-1-(4)	地域や市全体のまちづくりに関心を持ち、良好な都市基盤の再生・整備に参画する。		事業者は、ノーマイカーデーの設定などにより公共交通の利用を促進する。
Ⅲ-2-(1)	海や川での交流活動に参加する。	Ⅲ-4-(2)	日常生活において、できるだけ公共交通を利用する。
	海岸や河川敷の環境保全に努める。		地域が主体となった自主運行バスなどによる生活交通の確保について理解を深める。
Ⅲ-2-(2)	身近な公園の環境保全に努める。	Ⅲ-4-(3)	道路によって結ばれている地域との交流・連携を深め、地域同士が支えあう意識の醸成に努める。
	自宅周辺などの身近な地域の緑化に努める。		
まちづくりの目標Ⅳ 個性と創造性に満ちた活力あふれるまち			
Ⅳ-1-(1)	観光ボランティア活動に参加し、国内外の観光客に対して案内を行う。	Ⅳ-2-(3)	芸術文化活動の発表の場でそれぞれの成果を披露する。
	観光関連事業に携わる人々は語学力の向上に努める。		伝統的な行事やさまざまな芸術文化活動に参加する。
Ⅳ-1-(2)	観光イベントに積極的に参加する。	Ⅳ-3-(1)	本市の魅力をより深く理解する。
	折に触れて市の観光資源を紹介する。		地域の活性化に向けた活動に主体的に参画するとともに、市内の人々や団体などとも積極的に交流する。
Ⅳ-1-(3)	市の特産品の魅力を認識するとともに、折に触れて紹介する。	Ⅳ-3-(2)	恵まれた広域交通ネットワークを活用し、積極的に国内外の人々と交流する。
Ⅳ-1-(4)	おもてなしの心をもって、コンベンションに参加した来街者と接する。	Ⅳ-3-(3)	自らの経験を生かして国際交流・国際協力に取り組み、その活動を広げる。
	富山コンベンションビューローが運営するコンベンションボランティアに登録し、コンベンション参加者との交流活動に取り組む。		外国人も日本人住民と同様に地域活動などが行えるよう、よりきめ細かい情報提供や活動支援を行う。
Ⅳ-1-(5)	おもてなしの心をもって観光客と接する。	Ⅳ-4-(1)	農業サポーターや森林ボランティアの活動に参加し、担い手不足の農山村の産業を支援する。
	観光関係者は、本市の観光についての知識を深めるとともに、接遇などについて資質の向上に努める。		生産者は、安全・安心な地場産品の供給拡大と新商品の開発販売に努める。
Ⅳ-2-(1)	文化財を愛護する心、ふるさとを愛する心を育む。	Ⅳ-4-(2)	消費者は、地場産品についての理解を深め、購入に努める。
	地域の伝統行事に参加する。		地域材についての理解を深め、燃料としての利用や建築資材としての活用などに努める。
ガラス工房が実施する制作体験事業へ積極的に参加する。	生活用品、食料品は、なるべく地元の商店、スーパーで購入するよう努める。		
Ⅳ-2-(2)	ガラス美術館が実施する展覧会や普及事業へ積極的に参加する。		商店街で商売している個店は、地域社会の中心として地域貢献に努めるとともに、魅力ある商業空間の形成に努める。
	商業デザインへのさらなる理解を深める。		地域コミュニティの大切さを認識し、社会問題に対する理解を深め、住民相互の助け合いに取り組む。
Ⅳ-2-(3)	音楽や演劇、美術などを鑑賞し、芸術文化に親しむ。	Ⅳ-4-(3)	知識や技能等を生かして、新たな事業に取り組む。
	創作活動に関する講座等に参加し、感性を磨き創造力を養う。		
まちづくりの目標Ⅴ 新しい富山を創る協働のまち			
Ⅴ-1-(1)	人権の重要性を理解する。	Ⅴ-1-(3)	事業者は、男女ともに働き続けやすい環境づくりに努める。
	誰もが明るく安心して暮らせるよう地域の生活環境づくりに努める。		家事・育児・介護などを男女で協力して行い、仕事と家庭生活等の両立に努める。
	災害時等において、救援・救助活動や復旧支援活動に協力する。	Ⅴ-2-(3)	市政情報や市役所出前講座等を活用し、まちづくりについて考える。
地域の一員として、それぞれがまちづくりについて学び、考えるとともに、地域が一体となって魅力ある地域づくりに取り組む。	パブリックコメント等で意見を提案する。		
Ⅴ-1-(2)	市民は市政の担い手であるという認識を持ち、さまざまな機会を捉えて市政に参画する。		タウンミーティング等に参加する。
	ボランティア活動やイベント等に参加する。	郷土の歴史や文化を広く学ぶ。	
	身近な公園や歩道の清掃などの地域活動に積極的に参加する。	Ⅴ-2-(4)	インターネットなどのICT（情報通信技術）を積極的に活用し、行政情報や行政サービスの提供を受ける。
Ⅴ-1-(3)	男女共同参画社会の実現を自らの課題として捉え、主体的に取り組む。	Ⅴ-2-(5)	地域の行政は、地域の住民が自分たちで決定し、その責任も自分たちが負うという意識を持つ。
	コミュニティ活動に、男女ともに参画できるように努める。		

主な協働事業一覧

総合計画事業	概 要
地域児童健全育成事業	小学校の余裕教室などを活用して子どもたちが安全に遊ぶことができる場を確保し、地域が主体となった運営団体が児童の健全な育成を行うもの。
親子サークルの充実	保育所等への未入所児とその保護者を対象とした親子サークルを実施し、子どもの遊びの指導や保護者同士の交流、子育て相談を通じ、家庭教育の大切さについて理解を深める取組を推進するもの。
児童虐待防止体制の整備	関係機関との情報交換、意見交換を行うとともに、虐待の予防のための啓発活動を実施し、職員及び、関係者の資質向上のための研修会を開催し、体制を整備するもの。
ファミリー・サポート・センター事業	地域において「子育てのお手伝いをして欲しい方（依頼会員）」と「子育てのお手伝いをしたい方（協力会員）」を組織化し、相互援助活動を行うことにより、仕事と子育て等を両立し、働きながら安心して子どもを生み育てることができる環境の整備をするもの。
市民自然調査事業	富山市民とボランティアが学芸員と協働し、富山市全域の平地から山岳域までの自然環境調査を行い、環境保護への意識を高めるもの。
健康づくり推進事業	市民が日常生活において、栄養、運動、休養のバランスをとることを基本とした生涯を通じての健康づくりの啓発・普及を図るもの。
介護予防「楽あいいきいき運動」推進事業	介護予防に大きな効果があるといわれる運動器（筋力）の機能向上のための介護予防運動を、身近な地域で気軽に取り組むことができる「楽あいいきいき運動」を推進し、介護予防活動の普及啓発及び促進を図るもの。
自主防災組織育成事業	災害発生時に初期消火、避難誘導、救出・救護、情報収集・伝達、給食・給水などを地域住民が自ら取り組むことが防災上極めて重要で効果的な対策であり、自主防災組織の組織率向上を図るもの。
子ども及び高齢者交通安全対策事業	高齢者交通安全教室において、近年の交通事故状況や傾向に応じた指導、啓発を行うことで高齢者死亡事故の抑止を図るもの。また、幼児・児童の交通安全教育指導を展開し、必要な交通安全技能の体得と生涯にわたる交通安全意識の獲得を促進するもの。
ごみ減量化・資源化推進事業	空き缶、空きびん、ペットボトル、その他プラスチック容器包装、古紙（新聞、雑誌、ダンボール）、紙製容器包装、生ごみ、及び古布の分別回収とリサイクルを実施し、また、モデル事業として将来的に希少金属類の回収を視野に入れた「小型廃家電」の回収を実施することにより、ごみの減量化・資源化を推進し、循環型社会の構築を目指すもの。
エコタウン推進事業	地域の振興を図りながら、市民及び事業者の参加・協力のもとに資源循環を推進するエコタウン団地内での新たな資源循環の育成とリサイクル製品の有効利用拡大などに総合的に取り組むもの。
太陽光発電システム導入補助事業	住宅用の太陽光発電システムの設置を促進し、太陽光発電システムの設置によって生じた余剰電力の電気事業者への売電に応じた補助を行うことにより、設置者の省エネ意識の高揚と太陽光発電システムの普及促進を図るもの。
（仮称）3R活動団体支援事業	3R（リデュース、リユース、リサイクル）を促進する市民ボランティア団体を支援するもの。
ごみ減量化・資源化推進事業（3R推進スクール）	幼少期・少年期から、ごみに対する問題意識を持つことにより、ごみの減量化・資源化への関心を高め、家庭における実践と啓発を図るもの。

総合計画事業	概 要
森のちから再生事業	きんたろう倶楽部などの森林ボランティアとの連携により、森林の整備・保全を図るもの。
歴史的まち並み修景等整備事業	伝統的家屋の修復、それらに調和する一般建築物の修景等の工事に對し補助を行い、伝統的なまち並みの保全、形成に努めるもの。
屋外広告物適正化事業	景観を阻害する過大な屋外広告物を規制するため、早期の是正を促進し、屋外広告物景観の改善を図るため、是正にかかる工事費の一部助成を継続するもの。また、違反広告物の設置者や施工者への是正指導を実施するもの。
公園管理サポート事業	公園管理の状況を改善し、管理水準の向上を図るため、造園経験者や趣味で園芸をされている方などをはじめとした地域住民の方々に、除草や芝刈り、低木の刈込み作業等を行ってもらう公園サポート制度を確立し、地域に根ざした公園管理を行うもの。
中山間地域等農業活性化支援事業	小規模な農家経営が中心である中山間地域の農業の持続が困難な状況になりつつあるため、豊かな自然環境を活用した都市住民との交流の促進、集落機能の強化などにより地域の活性化を推進するもの。
都市農山漁村交流推進事業	都市住民等の農業・自然体験や農山漁村地域との交流などグリーンツーリズム活動を促進し、地域で連携した農山漁村の振興を図るもの。
住宅ストック活用推進事業	中古住宅のリフォーム支援やリユース支援（空家情報バンクの拡充、住み替え支援策の実施）等を実施することで、空き地・空き家の流通促進を図り、既存ストックの有効活用によるコンパクトなまちづくりを推進するもの。
拠点整備推進事業	地域の生活拠点となる鉄道駅周辺等において、開発や意欲のある地域を支援するため、駅周辺開発にかかる計画策定や事業などを総合的に支援し、お団子の形成を促進するもの。
コミュニティバスの運行・地域自主運行バスへの支援	公共交通空白地域や不便地域において、地域が主体となったコミュニティバスの運行を中心とし、市民との協働により、公共交通空白地域や不便地域を解消するもの。
富山の物産商品力向上支援事業	本市の特産品の高付加価値化や高品質化を進めるとともに、他との差別化を図ってブランド性を強化できるよう、生産者などを対象にしたセミナーを開催するもの。
観光サポーター研修事業	観光ボランティアの育成や語学研修を行うとともに、観光ボランティア協議会の活動に支援し、観光ボランティア間の情報交換や連携強化を図り、観光客の受入態勢の充実を図るもの。
楽農学園事業	市民等を対象とした実践的な農作物の栽培技術研修等を開催し、農業サポーターや自ら農業を行う人材を養成し、地域農業の多様な担い手の育成を図るもの。
富山とれたてネットワーク事業	市域の特色ある地場農林水産物の販売促進等を、各地域の連携により一体的に展開をすることで、地域農業の活性化と地域間交流を促進するもの。
公募提案型協働事業	市民活動団体等の特性を活かした事業提案を公募し、提案団体と市がともに「公共サービス」の担い手となり「協働」して解決に取り組んでいくもの。
男女共同参画社会推進事業	市民の固定的性別役割分担意識を見直し、あらゆる分野に男女が対等に参画することができる男女共同参画社会を実現するため推進するもの。
タウンミーティング開催事業	市民と行政が市政情報を共有し協働のまちづくりを推進するため、市民に市の施策などについて説明し、意見を交換する機会として、タウンミーティングを開催するもの。

富山市総合計画 後期基本計画 2012－2016 概要版

平成24年 3 月

編集・発行 富山市企画管理部企画調整課
〒930-8510 富山市新桜町 7 番38号
電 話 (076) 443-2010
<http://www7.city.toyama.toyama.jp/>
印刷・製本 とうざわ印刷工芸株式会社

この冊子は、回収古紙を配合した再生紙を使用しています。
また、印刷インキには環境負荷の少ない大豆油インキを使用しています。



立山あおぐ特等席。富山市

